京城日報

十日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六十五錢 三ヶ月金一圓九十錢 六ヶ月金三圓七十錢 (郵税共)
廣告料 ▲五號活字一行金七十錢 ▲欄内一行金壹圓 ▲三號活字 …
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 …

總督訓示
第二部長會同に於ける

各道第二部長會同最終日(十日)に於ける寺内總督の訓示左の如し

歐洲の戰爭及び隣邦の動亂は我が財政經濟に多少の影響を及ぼしたるのみならず、前年來米價の低落は地方經濟界の不振を來したるに拘らず租税歳入は能く豫定の額に達し、歳計上何等の牴牾を來さゞりしもの畢竟民力増進の致す所なる可しと雖も、此の間に於て各位が能く道長官の指揮に從ひ機宜の處置を愆らざりしに由らずんばあらず。

一般課税物件の調査は逐年精細を加ふるに至りたりと雖も、倘十全ならざるの憾あり、若物件の調査にして適實を缺かんか、啻に課税の公正を保つ能はざるのみならず、延て歳入の確實を期する能はざるに至るべきを以て今後課税物件の調査に方りては一層周到なる注意を拂ふべし。

近年地方行政の進展するに從ひ夫役其他の方法に依り公共事業を處辨するもの漸く多きを致し爲に逐年人民の負擔を増加するの傾向あり。夫役は朝鮮古來の良習慣なりと雖も其方法宜きを得ざるときは或は民力の發達を阻碍するの虞なしとせず。故に能く事の緩急を計り賦課の方法、程度及び時宜を誤らざらむことに留意すべし。

納税成績の比年良好に向ひつゝあるは誠に喜ぶ可き所なりと雖も、近來地方に依ては間々金利を打算して故らに納付を延滯するものあり斯の如きは誠意を以て國民應分の負擔を分つの義務を竭す所以に非ざるを以て適當の措置を執り此等の弊風を未然に杜絶することに努む可し。

太正四年より實施したる二期徴税に關する旨趣は未だ一般に徹底せざる所あるが如し。抑々二期徴税は主として納税者の便利を圖らむが爲め實施したるものなるを以て、其納付に就ては簡易にして弊害なき方法を擇ばしめ、尚ほ一面納税貯金を勸奬する等納税を容易ならしむるの目的を貫徹することに勗むべし。

土地調査の進捗するに從ひ大正三年及び四年の兩年度に於て既に十二府一島三十七郡に土地臺帳及び地籍圖を設備し、更に大正五年度に於ては一島七十三郡に亙り之を設備するの豫定なり。此等の府郡島に於ては之に依り地籍を明確ならしめたるを以て自然土地の賣買取引を促進するに至る可し。然るに之が異動を整理するに方り、其措置或は緩漫に流れ、又杜撰に亙るときは爲に地籍を紊亂し所有權を確保すること能はざるのみならず、延て課税の公平を缺くに至る可し。斯の如きは土地調査の本旨を沒却するものなるが、故に土地の異動整理は敏速且正確に之を執行し以て地籍の確立を期すべし。

面の財務取扱は近時著しく進歩發達し、殆んど其面目を一新するに至りたりと雖も、倘往々執行其の宜きを得ず、又は面吏員に於て保管中の公金を亡失するが如き事例なきに非ず。斯の如きは職として平素の監督周到ならざるに依る。然るに將來面事務就中財務に關する事項は一層複雑多端となるべきを以て、道郡島に於ては務めて事務を簡捷的確にし常に實際に就き詳密且つ懇篤なる指導監督を加へ、以て面吏員の非行を未然に防止することに注意す可し。

各位の答申に依り最近數年間に於ける土地所有權異動の趨勢を察するに漸次中小自作農者の減退を示せるが如し。願ふに堅實なる農業の發達を圖らむとせば宜しく自作農民の保護及び増殖に勉めざるべからず。近時經濟狀態の膨脹に伴ひ種々の動機を以て土地を買收するものあり、中小農民は目前の利益に惑ひ祖先傳來の田畓を放賣し却て恒産なき流民に墜つる者あり。是れ獨り農民各自の不幸なるのみならず、延て一般農業を委靡し且社會組織の根本を薄弱ならしむるに至るべし。故に地方當局者は能く此間の消息を察し、適宜の方法に依り中小農民を庇護激勵し、之をして健全なる發達を遂げしむることに留意すべし。

地方金融組合は主として小農の經濟を改善する目的を以て設立したるものにして、漸次其の目的を達しつゝあるは誠に欣ぶ可きことなりと雖も之れを以て農民の總數二百六十萬戸に對比すれば現に組合に加入したるもの僅に六萬六千戸に過ぎずして小農民の大多數は未だ全く組合の恩澤を被らざるの狀態なるは甚だ遺憾とする處也。況く一般農民をして組合設立の本旨を了解せしめ其効力を發揮することに努むるを要す。倘ほ將來豫算の許す範圍に於て組合の増設を圖るべしと雖も之に對する經常費の補助に至りては國費の多端に鑑み漸次之を減廢するの要あるべきに依り今より鋭意適切なる指導監督を加へ、組合職員の奮勉努力を促し、以て組合經濟の基礎を鞏固ならしむることに注意すべし。

地方金融組合理事は地方農民の儀表となり之を指導啓發すべき地位に在り。故に其行動如何は直に組合の消長盛衰に關するのみならず、地方一般の風紀に影響すること尠からざるを以て之が監督に關しては常に訓達する所ありしも、尚此等職員中不正の行爲を敢てし組合の發達を阻害する者なきに非ざるは遺憾に堪へざる所なり。先づ組合職員の人選に注意し、恒に其の執務を監督し、苟も非違の行爲なからしむるは勿論、一層其の職務に奮勵し組合の成績を擧ぐるに於て遺憾なからしむべし。

目下に於ける地方行政上の急務は殖産興業を奬勵し、民力の發達を圖るに在り。而して完全に斯の目的を達せむとせば地方に於ける各部機關の協同一致に俟たざるべからず。財務の職に在る者と雖も、單に租税徴收の事務を完うするを以て足れりとすべからざるは言を俟たず。蓋し平素財源の涵養に資すべき適切の施設を爲すに非ざれば到底的確なる歳入の基礎を立つるに由なからむとす。故に産業の發達を圖るは畢竟財務の實績を擧ぐる所以に外ならず。各道の第一部と第二部とは其の司掌する事務に於て自ら範域ありと雖も、兩部共に道長官指揮の下に相倚り相援け互に職責を完うし、其の間間斷して支吾杆格あるべからず。財務當局者は能く此の意を體し、啻に經濟狀態の變遷に留意するのみならず、社會の進歩、民心の趨向に著目し、之に對應するの施設を考覈すると共に絶えず財務處理の改善を圖り、以て施設方針の遂行に貢獻せむことを期す可し。

官規の振肅に關しては從來屢々訓示するところあり、各位は上司、下僚と共に夙夜能く此の旨趣を體して致て粥る所あらざるべしと雖も、財務に關する事務は人民の利害に關係する所殊に緊切なるものあるを以て、之に從事する者は特に嚴正廉潔なるを要す。故に各位は躬行實踐其の範を示すと同時に部下の監督を嚴にし以て其の任務を完うすることを期すべし

◎黎總統と意見の衝突
段内閣の舊國會召集反對

黎大總統の舊國會召集意見に對し段内閣は絶對に反對し時代變化の今日舊議員を以て國會を組織するの不利益を論じ先づ各省代表を集め新に國會を開きて代行すべきを主張し八日の會議に於て既に意見の衝突ありしと(北京特電)

◎黎總統の施設好評

黎總統は七日上海にある梁啓超、唐紹儀、湯化龍、王揖唐等に向け速に來京して共に國難を救濟せんことを望むと打電し又た内務總長王揖唐に命じ監禁同樣に取扱はれ居たる文豪章炳麟を釋放優遇せしめ又た兌換券改良の資金中に私財六十萬圓を提供すべしと發議する等其の施設は好評を以て迎へられ居れり(北京特電)

◎露軍南部戰線の戰利

露軍の南部戰場に於ける捕虜の數は殆んど四萬餘の多數に達し尚ほ此の外露軍は砲七十門機關砲百三十四門を鹵獲したり(露都電報)

◎ト驛占領

露都來電公報に曰く露軍はルツクのトキュウク驛を占領せりと(倫敦電報)

◎ヴ砲臺の占領
伯林電報

伯林來電に曰く獨軍はヴォー砲臺を占領せり(紐育電報)

◎藤澤參政官一行

藤澤參政官一行九日午後十一時二十八分來田一泊の上十日午前六時發列車にて木浦へ向ひたるが十一日同地より引返し群山へ向ふ可しと(大田特電)

◎總督邸晩餐會

寺内總督は十日午後七時より入京中の林大使を官邸に招待晩餐會を催す

◎第二部長饗應

寺内總督は十日午後七時より各道第二部長を官邸に招き晩餐の饗應あり各部長官局長並に第二部長會同列席の各課長所屬官署の長等も列席す

◎二部長會同(最終日)

各道第二部長會同最終日は十日午前九時より總督府第二會議室に開會、各第二部長は勿論總督府よりは寺内總督、山縣政務總監以下各部長官、所屬官署の長、局長、各課長等出席し荒井長官統裁の下に直ちに日程に入り指示及び別項所載の如く總督の訓示ありて午前十一時閉會之れにて第二部長會同は無事終了せり

◎獻穀田移植式

豫て本年の新嘗祭に奉納す可き獻穀齋田として指定されたる京畿道富川郡梧柳洞なる小峰源作氏方に於て育成中なる獻穀田苗代は播種後の成績良好にて最早移植の時期に達したるを以て十日午前十時より苗取の式を行ひ更に同十二時より田植の式を行ひたり當日京畿道よりは高見技師林技手等も出席せり

◎大倉組と農銀の鑛山

黃海道瓮津郡馬山面の秀俊山金鑛は海岸船付場を去ること一里餘の所にあり鑛區の面積百五十萬坪を有し金及び鉛の産出量頗る豐富にして金の品位十萬分の四、鉛は百分の七十五パーセント以上に上り中には鑛脈の延長二千五百尺に達するものあり、數年來探鑛の結果鑛量約十五萬噸三十年は採掘し得る見込十分にて目下毎月三百噸内外を採掘し專ら久原鑛業及び三井の神岡鑛山へ賣鑛しつゝあり成績頗る好良なりしが、大倉組は夙に其の有望なるに着目し今春來大倉喜七郎氏より農銀の遠山支配人に經營引受方を交渉中なりし處其後數箇月の折衝を重ね此程に至り双方の條件一致したるを以て九日遠山支配人と大倉組代表者門野重九郎氏との間に經營委任の契約に調印を了したり因に大倉組は老練なる技師江刺重樹氏を監督とし巨資を投じて採掘に全力を盡すべしと

◎五月手形交換高

五月の手形交換高が六百六十一萬餘圓に上り稀有の數字を現はせし事は既報の如きが右總額を各種別に表はせば左の如し

	枚數	金額
小切手	一八、七六八	四、一四一、九五六
送金爲替手形	七七七	三六五、六六九
約束手形	三〇五	一七八、六九〇
仕拂出給命令	二、七〇八	九〇九、五八八
郵便爲替證書	七、二九五	五〇八、一九六
公債々券利札	二、〇五八	一一、一〇〇
雜前票	三七二	五一一、六四五
合計	三三、三〇三	六、六一六、八四七

圓以下は切り捨てしに付合計に於ては出合はざるべし

◎林大使動靜

九日夜入京朝鮮ホテルに投宿せる林大使は十日午前中國分李王職事務官の案内にて舊慶熙宮博物館、中央試驗所等を觀察し正午總督官邸に寺内總督を訪問せり同夜は更に七時より總督官邸に催さるゝ晩餐會に臨み十一日は午後四時より花月に開催の第二部長會同者の招待宴に出席の上午後七時五十分南大門驛發列車にて退京東上すべし

◎立花師團長歸任

先月十二日龍山出發北鮮地方視察中なりし立花第十九師團長は須田參謀、宮地副官、菊池副官、吉井主計正、谷口軍醫、李村獸醫を隨へ豫定の如く十日午後五時九分龍山著歸任せり

◎吉原總裁消息

吉原東拓總裁は十日頃歸任の筈なりしが都合上延期する由

◎中村檢事長出張

既報の如く中村京城覆審法院檢事長は事務視察の爲め愈々十一日午前八時三十分南大門驛發列車にて大邱及び馬山へ出張す可しと

◎藤澤參政官南行

入京中なりし内務省參政官藤澤幾之輔氏は九日夜南大門發大田に向へり

◎松永道長官視察

松永京畿道長官は前日に引續き十日も午前九時より水下洞、梅洞、茶洞、仁峴等の各普通學校を巡視したるが十一日は休止十二日更に午後一時より漢洞、京城女子普通、貞洞等の各校を巡視し之にて京城全部の視察を終り引續き十三日より仁川府の行政事務を視察すべしと

◎兪參與官歸任

兪京畿道參與官は六月二日より教育道路其他管内狀況視察の爲め加平抱川兩郡に出張中の所九日午前南大門驛著列車にて歸任せり

◎村瀬副參事視察

鐵道局副參事村瀬鎌次郎氏は連絡事務視察の爲め滿鐵金線吉長線及び東淸線哈爾賓に出張する事と爲り十日夜龍山發月末歸來の筈なり

◎李王職員任免

六月九日附左の通り辭令ありたり

李王職事務官 多田桓
陞叙高等官三等(賜一級俸)
李王職事務官 金澤基
陞叙高等官三等(賜一級俸)
李王職贊侍 嚴柱承
陞叙高等官四等(賜一級俸)
李王職事務官 李仁用
陞叙高等官五等(賜一級俸)
李王職事務官 安商説
陞叙高等官六等(賜一級俸)
李王職技師 岡田信利
賜二級俸
李王職事務官 多田亘
同 同 金澤基
同 贊侍 嚴柱承
同 事務官 李仁用
同 同 安商説
同 技師 岡田信利
依願免本官(各通)

右の外判任官十五名依願免官あり

又十日附を以て左の通辭令ありたり

李王職贊侍 尹德榮
同 同 金觀鎬
同 同 尹迪求
同 同 李齊永
同 同 金丙甲
同 典醫 徐丙孝
同 同 朴準承
掌侍司勤務を命ず(各通)
李王職贊侍 子爵尹德榮
掌侍司長を命ず

◎辭令

十日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府試補を命ず(年俸六百圓下賜) 萩原彦三 富永文一 三浦性一
依願免本官 朝鮮總督府司法官試補 松浦是

◎警察官辭令

(八日附)
任慶州警察署長 警部 太田愛五郎
(十日附)
命南川警察署勤務 警部 學瑞祥
命鍾路署勤務 警部新任 尹泳斌

◎仁川取引所の名譽

仁川米豆取引所は大正四年五月仁川水産奬勵費として金一萬二千圓を寄附せしを以て今回賞勳局より金盃三組一重を下賜され京畿道廳にては九日を以て仁川府に向け發送傳達せり

◎教練射擊實習

京畿道警務部及び京畿道憲兵隊本部にては十日午前八時より京城北門外に於て教練射擊實習を實施せり

釜山

▲釜山驛長更迭 明治四十四年以來釜山驛長として好評ありし堀井儀作氏は今回木浦營業課派出員に榮轉し來る十四日午後十一時發にて家族同伴任地に赴くべく同氏の後任は元山營業課派出員たりし桂榮三氏にして來る十四日朝著任すべしと▲商業會議所新計畫 釜山商業會議所にては過般二千餘圓を投じて鑛山館を新設せしが今回更に同館裏に鑛産物分析所を新設することに決定し目下總督府中央試驗所豐永博士に囑託して是が設計中なるが近日中に完成の筈なるを以て遠からず工事に著手すべく其の豫算は約二千圓なりと尚同會議所にては新議員選擧後直ちに大正五年度豫算を編成する筈にて其の總額は約八千圓なりと▲輸入商組合例會 釜山輸入商組合にては九日午後七時より商業會議所構内商工俱樂部に於て例會を開きたり▲赤痢患者發生 釜山に於ける衛生狀態は頗る良好にして傳染病の發生なかりしが去る八日に至り草梁坂の下より一時に三人の赤痢患者發生し直ちに傳染病院に收容す

三道界横斷記
(黃池里より) 上田獄心

黃池里に至らんにはなほ[illegible]山嶺の高處を越えざる可らず標高三千七百九十尺一行の[illegible]を揃へて山麓に達し此處より下馬相携へて山上に登る道は崎嶇羊腸として一歩一喘前後相呼應男氣を鼓して樹林を潜る漸く一條の道開け頂上は稍々平坦にして展望あり[illegible]太白の雙峰[illegible]として聳え[illegible]の斷崖[illegible]山を下りて三陟郡上長面[illegible]洞窟を訪れたる頃[illegible]午後七時十五分黃池里に着す二千二百十尺の高地此日温度六十度なほ寒し黃池里命名の由來は[illegible]小池あり平素水澄みて[illegible]に達し時ありて水濁り黃色を帶ぶ黃池里の名是に因めりと謂ふ[illegible]洛東江の水源[illegible]明日は愈々太白の高峰に登らんとす(六月一日)

大田

▲協會役員 大田實業協會役員は曩に總會を開き會長副會長及び理事の選擧をなしたる結果 會長辻醮之助、副會長富士平平、理事岸辰一、村尾伊勢松、中部京平、大野興三郎、安宅長太、今井長太郎、小畑庄作、吉戶伊左衛門、關田松太郎、藤田健治郎の諸氏當選せり然るに辻氏は會長の器にあらずと辭任し種々交渉したるも固辭して止まず依つて村尾伊勢松大野興三郎南部京平小畑庄作の四氏就任勸告委員となり七日辻氏に說く所ありたるに辻氏主張の如く同氏副會長とし當分會長を置かずして副會長にて事務を取る事とし一週間以内に會員を取纒め引續き第一回總會を開會する筈なり▲電燈値下 大田電氣株式會社にては從來金屬線十六燭一月一圓五十錢なりしが今回一圓三十錢となす筈にて其筋より認可あり次第實施すべし

人事消息

▲島津直彦男 十日朝水原へ
▲野村一郎氏(總督府囑託) 十日朝入京朝鮮ホテルへ
▲藤岡忠太郎氏(元山水產重役) 入京中の處十日朝退京
▲内田良平氏(黑龍會々長) 同上
▲宮原正義氏(專賣局城津出張所技師) 人蔘栽付檢査及六年根生育調査の爲管内各地に出張
▲田中貞吉氏(代議士) 十日朝内地より入京
▲笠井工學博士 九日朝同發馬山へ
▲平塚定次郎氏(會計檢査官) 九日朝釜山より鎭海へ
▲佐々木藤太郎氏(慶尙南道長官) 九日京城より來釜
▲長島隆二氏(代議士) 九日夜釜山發内地へ
▲宇垣陸軍少將 同上
▲宋秉畯氏(子爵) 十日朝八時三十分發水原へ
▲阪東衛生課長 十日病氣の爲引籠中
▲谷根田又兼氏(京城工業專門學校教授) 九日夜入京南光館へ
▲朴泳孝氏(侯爵) 九日午後水原より入京

□漢口より

木村理事一行消息 外一名生

カルガンに城見に來た菜種哉
理事の「補公」に感涙を催しつゝ、今河南を越へて湖北に入らんとす。其後の傑作
邯鄲驛を過ぐ
春くや邯鄲の野は麥熟れて
春くや晉生も出でゝ刈る麥に

◎我兵北京に到る

日本の陸軍守備隊一中隊は九日午後七時天津より北京に到著せり(北京特電)

◎北京政府と南方政府
馮將軍の成行觀望

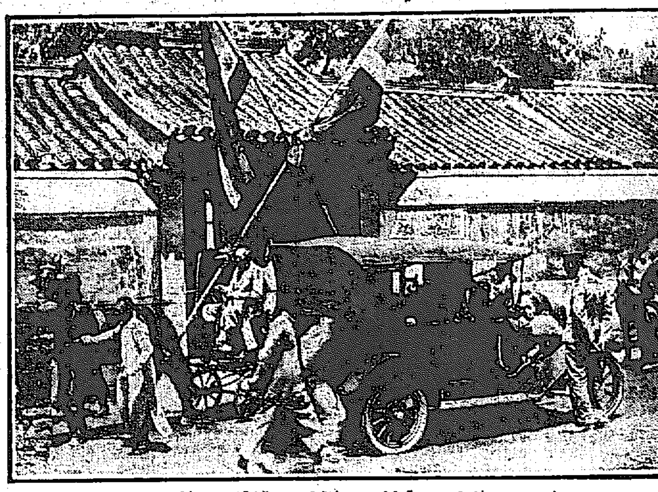
假大總統黎元洪及び國務卿段祺瑞の名に於て袁總統長逝後の處置及び南北融和に關し南方政府に長電を發し召ぐ處ありしに對し南方政府は約法により黎副總統の假大總統として元首の權を繼げるを承認せるも段國務卿に對しては不信任の意志を表明せり注意人物たる江蘇將軍馮國璋は猶成行觀望の態度を持し居れり(東京電報)

◎對支方針未定

我政府の對支大體方針は時局により何等の變動なきも袁總統歿後の支那時局に對し積極的行動に出づるや否やは方針猶未定なりと(東京電報)

◎駐屯部隊急派

北京聯合國使臣會議の結果萬一の變を慮り日本守備兵の增遣を協議せるを以て政府は柳樹屯駐屯部隊より一個大隊を天津に急派せり内三百名は北京の守備に服する筈なりと(東京電報)



黎新總統寓居

黎元洪氏が大總統に就任に決するや大小百官は黎氏の寓居に慶賀するもの門前市をなし爲めに此頃の東廠胡同は車馬絡繹として殆んど通行する能はざる有樣なりと

◉林伊太利大使と語る

◇戰爭は鳥渡片が付くまい

怎だい、君と賭けをしようか

歸任伊大使東京の儀で日朝の途にある林權助男が出迎への爲め開城驛へ行く列車が丁度開城を發車するあたりから食堂の開ける時刻となつて大使の姿は食堂に消えてしまつた記者が食堂で面を通ずると

『俺は女と新聞記者が大嫌ひだよ』と劈頭大使の重い唇から皮肉が迸り出る『左樣、俺は亞米利加に行くんだ相だ途中で電報を受取つて吃驚した位だからまだ行くとも行かねとも返辭もしてゐない怎仕樣かと思つてる處だ。今度は

◇羅馬から巴里◇

倫敦夫れにペトログラードと交戰國の首都を又ーッとさ通過して來たが、聯合國側は各國共『戰爭は是れからだ』と云ふ樣子をしてる。軍器彈藥品の補充が次第に充實して行つて眞實の戰爭は是れからださ云ふ心意氣は獨り露國に限らず英國にも佛蘭西にもある。戰爭は三年はかゝるよ、いや五年かゝるかも知れない。

◇キッチナー將軍◇

の訃は何處だつたか途中で聞いたが全く氣の毒な事だ。然し其處は大英國だ、一人のキッチナー將軍の爲めに怎の恁の云ふ樣な事は決してありやあしない、相當に後繼者はゐるさ而して今迄通りの戰爭が續けられて行く、何?媾和の聲?成程同盟國側には其意志があるかも知れない、羅馬法王は

◇流石職掌柄媾和◇

の爲め盡力もしたがつてるだらう。米國の大統領には別に媾和をさせ樣と云ふ意志があるとは云へないだらう、平和協會での演説が其樣な意志を仄かしたにした處が一體ウイルソンと云ふ人は學者なのだから其演説も學者の議論に過ぎない、夫れに第一媾和と云ふものは交戰國双方に其意志が無けりやあ出來やしないでは無いか、夫れが聯合國側にはチツトもそんな氣はありやしない聞つて戰爭は未だ仲々だそうさなあ

◇今から三年と◇

云ふ譯でもなからうが早くても來年迄は續くよ。今年中に片が著くと云ふ説があるつて?怎だい、君と賭けをしやうか俺は決して今年中には媾和會議は始まらないと云ふんだよ、へゝ、愈々媾和が始められたにしても其れが鳥渡には片が付くまい。列國經濟會議と云ふものが開かれると云ふので

◇日本から阪谷男◇

が出掛ける事に成つた。阪谷男とは倫敦で會つたよ、大にいゝ事だ、此樣な會合は無論唯一回ツきりでは決して纏まる筈のものでは無い、第一回は唯お互に各國の利害關係など話し合つて色々打合せがある位のものだらう、そして何回も何回も會合してゐるうちにだん\／眞實の效果が顯はれて來るのさ、夫れでいゝんだ。しないよりどれ丈けいゝか知れやしない。經濟會議の效果?是れこそは眞實の戰爭だ

◇列國の生命に◇

かゝはる重大事だ、小銃や大砲の戰爭の後に來る經濟戰爭が何時迄續くものか其勝負が怎麼ものかは遣つて見ないでは何とも言へないが兎に角日本が列國經濟會議に加入して阪谷男みたいな人物を特派したと云ふ事は大にいゝ事だ、是れ許りは大使にも財務官にも出來ないからね、一體大使と云ふものは皆莫迦許りなのだよ其れに

◇算盤の事など何が解るものか 財務官だつて算盤の事も

解るかも知れないが、今度の經濟會議などに出るにはあんなチツポケなものでは駄目だから。此會議は單に佛蘭西の開發會議所の請求によつて起つたと云ふ樣な小さなものではなくて列國共同の力を入れてる樣だね

◇夫れ丈けに效果◇

も尠くない譯だ。伊太利の列國に對する位置?そんな事は餘り批判しない方がいゝ、英佛露諸國に比して伊太利が何と無く從屬的な意味があるなどと云ふならば日本の位置は草履取ぢやないか一體日本は今度の戰爭に參加してるのかしてないのかとさへ聞き度くなる位だ。怎だい一體日本は戰爭に參加してるのかい、してないのかい?

◇宣戰の詔勅を◇

見れば其邊の事はよく分るのだが、近ら日本の新聞は餘り根據が無さ過ると思ふね、今は知らないが二三個月以前迄は屢もそんな惑があつたよ、聯合國の感情を害する樣な事は餘り書かない方がいゝね、露國のピエーロー公か亞米利加に行く事に成つた相だが、もう行つたらうか、未だ行かれえ、公が伊太利に來てた時だつて俺は會やしないよ

◇萬一途中でゞも◇

會つた處で挨拶もしなきや無論話しもしやしないさ亞米利加で一緒の處にゐる樣な事に成つたとしても無論同樣だ、戰爭が濟んで彼方から降參して來なきやお話もしやしないよ、其れに就て面白い事があつた何でもまだ

◇伊太利が戰爭に◇

加入しない以前の事だつたが伊太利皇帝の誕日に參內と思つた觀典の招待状が來た、俺は墺獨の連中と一緒にも成りたくなかつたしたので、丁度明治皇后陛下の御崩御になつた後ではあつたが服喪期も何故り終りに近づいて居た時だから出やうと思へば出られたのだけれど其れを理由として出席を斷つて了つた。處が聯合國の大公使も皆

◇交戰國の連中と◇

一緒に成るのは好くないと思つてもゐたらうし其れに英國大使は夫人が死んでまだ服喪期だつたし佛國大使は眞實の病氣で寢てたし露西亞は行かうとも行くまいとも蘇張り曖昧でどつちつかずだつたし期せずして日英露佛の各聯合國側の使節が皆

◇缺席と云ふ事に◇

成つてしまつた。と云ふ事が解つて見ると、何だか其れが列國で申合せてもしてゐる樣で伊太利に對して面白くないと云ふ話が出て仲間から是非俺に出席してくれないかと云ふ相談が掛つて來た、なあに出樣と思へば出られない事もなかつたので一度缺席すると云ふ返辭を出して置いたのを取消して出席すると云つてやつたが今度は伊太利の方で困つてしまつた。一體

◇恁麼時の席次は◇

非常に厄介なもので色々と苦心して都合して見るけれども怎しても俺が獨逸か墺斯利かの大使と隣り合せになる樣に成る是れを其儘にして置いては萬一どんな事があるまいものでもないと云ふので伊太利當局で心配して仲間の者に怎したものだらうと相談に來たのだ相だ

◇其麼に厄介なら◇

自分から日本の大使に話してやらうと云ふので『何卒出席しない事にしてくれ』と云ふ內談があつて俺は到頭出ないでしまつた事がある』大使は殿もく消えたシガーに火を點けてポツリ\／と是れ丈けの話をした此方の聞き度い事は大使の話し度くない事だし先づ政談とでも云ふ樣な事なら大した面白味も無いので大使は時間をかけて話しもする『亞米利加の大統領は

◇今年が改選期だ◇

が誰が當選するかなア、然し共和黨が勝たうが民主黨が勝利を得やうが其麼事は怎だつて關やしないぢやないか、ルーズヴェルト氏が當選すれば其時は其時さ、內政に重きを置く民主黨の天下でさへも大陸軍大海軍の施設計畫が議會を通過する位だから萬一ルーズヴェルト氏が當選でもしやうものなら怎麼事になるか知れないツて今から心配したつて

◇何更仕方が無い◇

喜やないか、一體日本では何かと云ふと金が無い\／と云ふけど金が無いのぢやない國民が出さないんだよ戰爭の爲めに多少金がはいつて來たと云ふけど軍備に費やす金位出さうと思へばどうしたつて出せるんだ其れを日本の人間は金と成ると恰然猶太人の樣に根昔が細なくて離したがらない癖がある而して戰爭と成ると金に居鬼に成るが

◇是れは間違ひだ◇

戰爭の時の心掛けを常に心掛けとして國の爲めを許らないでは到底駄目だと思ふ、徒らに個人の爲許りをはかつてた日には強い奴から打たれる迄の事だ。其が厭なら平時でも少しは眞面目に國の爲を思はなくちやいけないよ——』結局大使の談は餘り

◇要領を得た話と◇

は言へない『何しろ大使に喰へると何十枚と云ふ段が逃ふんだからなあ』と廊に思ひ侘びたりしてゐるうちに列車は龍山に著き南大門に來て了つた、南大門のプラットフォームには數十人の出迎者がゐて狹い構內に中山の顏を靴つた大使の周圍な姿が列車を下りるとドヤ\／と取りまいてしまふ新聞社の寫眞班がパッ\／とマグネシヤを焚く

◉袁總統正夫人殉死

第三夫人は毒藥自殺を圖る

袁氏瞑目するや長子克定次男克文は痛哭悲慟措く能はず正夫人は殉死し第三夫人は哀愁生くるを欲せずして毒を仰がんとし左右に抑へられて果さゞりき(北京特電)

◉臺灣から朝鮮を荒し廻る

住所不定深谷菊三郎(三〇)同島田元次(三〇)の兩名は何れも前科數犯あり臺灣臺南監獄を出獄後同地の出獄人保護會に收容され居る內本年三月頃共謀して脱け出で臺南より以北鐵道沿線にて盛んに竊盜を働き廻り五月釜山に渡り來り同地にて二箇所、大邱にて一箇所、次いで京城に流れ込みて二箇所にて賊を働き更に仁川に赴き寺町某會社員宅の不在中を窺ひ錠前を捻ち切りて侵入し上等衣類六點(九十二圓)を竊取し尙も荒し廻り居るを此程仁川署の手に取押へられたが是等全部の被害額は數百圓に達すべしと

□蘭書名家

□八十二歳の老軀を□提げて日本を巡遊□

回八十二歳の老軀を提げて日本巡遊を思ひ立つた玉磐山人尹秉升君は此程其令孫尹基浩君と共に入京し鍾路の漢城旅館に投宿して居る回玉磐山人は金秋史(阮堂)の淵源を汲み故大院君と同門の誼ある蘭畫の名人で往年寺內總督は「入道山河靜」の揮毫を送つて其畫風を賞讃されたことがある回鷹伯は數年前より平壤に居を卜し向井檢事長を會長とせる箕城書畫會の聘に應じて蘭法を傳授し悠々として餘生を樂しみ居たのである回今回京都紫野大德寺管長宗般老師の勸めにより八十二歳の高齢を以て遠く京都の風光に接せんとの志を立て今其途にあるのである回宗般老師は昨年朝鮮巡錫の時向井檢事長宅に於て鷹伯の揮毫を賞し、「雲濤萬里伴孤笻、楚水吳山探此宗、東海風光入君眼、天涯遙指玉芙蓉」の一絶を送られたことがあつた回鷹伯は東京其他の名所舊蹟を遍歷して內地の風光を賞したいと云つて居る回子爵の金允植、金聲根兩元老と同年輩だと云つて居るが仙骨稜々として却々達者な老人である

◉丸髷の四十女

浪花館で大暴れ

九日午後六時頃京城明治町浪花館に四十格好の夫婦者が酩酊して入場し來り三等券を求め一等棧敷に橫臥して動かざるより仲居が席替へを請求したるに大に立腹し怒鳴り出し一時は興行を中止する程の喧騷を來したるを巡廻中の警官が臨檢して取鎭めたり此夫婦者は山口縣生れ北米倉町居住靴職增田彌太郎及び妻さつといひ泥醉し居るより一應退出せしめんとしたる際件の女は又々番頭と爭ひを初め下駄を脱ぎて番頭に毆りつけんとしたる途端に足元が狂つて仰向けに打倒れ街路の石に後頭部を嫌といふ程打付け泡を吹いて立歸りたり

◉盜んで著用

京城櫻井町一丁目居住長崎縣南高來郡加津佐村生れの太田寬(二八)は前科三犯あり五月十二日正午頃家人の不在を見澄して光熙町某官吏の宅に忍び込み衣類四點置時計一個(十六圓)を竊取し一部は自分に著用し他は古物屋に賣却し又六月三日夜は黃金町三丁目小河內某方より蒲團一枚を擔ぎ出して之れを二圓に賣却し酒色に費消し居れる所を本町署に御用となる

◉七八組

平安南道江東郡古邑面東三洞八統八戶金相和方へ去る三日午前二時頃七名の强盜侵入し棍棒小刀等を突付て金相和を脅迫して金庫在中の紙幣十五圓及び白木綿四反銀指環四箇(價十圓)を强奪逃走せり

京城に何が欲しいか

□皆必要のものと云ひたい

鍾路署長 松井警視談

京城に何が欲しいかといふ問ひに對して一般の希望の集まつたのを見ると吾々が豫て京城には是非必要だと思つてゐた事柄が悉く網羅されるやうだ、實際に就いての必要不必要は別として京城市民が市そのものに對し如何なる注意を拂つてるかゞ窺はれるではないか、數字に表れた

▽市民の希望を實現してゆくには多くの費用も要るだらうが出來上つたにしてもその維持に困難だといふ論者があるけれど經費なぞは依つては何處からでも生まれてくる甚だしく重い負擔でない限り方法にではないか、徒らに引込思案ばかりしてゐては何時まで經つても際限が無いではないか、一瞬一刻を爭ひつゝ進んでゆく京城にして都市的設備の完全を期せんとするには

▽ドシ\／實行に取りかゝるべきである、私の希望としては市の中央——即ち鍾路通りに沿うて流れてゐる川の下流を浚渫又は切擴げて漢江に疏通せしむる樣にし四時川水が絶えないやうな施設が衞生上にも風致上からも是非欲しいものだ、之が一つ。次ぎに下水の設備がまだ完全でない所がある、

▽下水の設備に就ては種々の方法があるけれども下水溝をもつと設けて欲しい、又京城の市街は頗る亂雜である、之れは都市としての體面上誠に遺憾千萬な事である、尠なくも一等道路に面する箇所位には家屋の建築に適當な制限を設けて欲しい、堂々たる市街に舊時代の遺物である藁葺家があつたり屋上廣告の不體裁なものがあるのは都市の美觀を破壞するものである。

□一般の希望と出來さうなもの

山口太兵衛氏談

京城に何が欲しいかといふ一般の希望を見るに何一つとして不必要と認むべきものはない、併しながら玆に懸念されるのは

◇公會堂にせよ圖書館にせよ劇場にせよ實現に要する經費、實現してからの維持の問題である、それと今の京城として一般の希望する如き施設が急を要するかといふ事も考へねばならぬ、しかしながら差當り必要を感じ又は

◇容易に出來さうなのは私立中學、市街又は近郊に於ける家庭的の遊園地、公園に兒童の運動機關設置などであらうと思ふ

讀者の聲 京城に欲しいものに就いて吾々市民が研究するのは實に吾々の特權であり且つ義務ではないか贊否共に大に意見を發表しようではないか(一公民)▲有力者の談話にまだ劇場の問題がないのは物足らぬと思ふが如何(劇狂)▲後から出て來ます(係)▲漢陽公園にベンチ十脚ばかり欲しい(遊覧者)▲山田楊州君の意見には大贊成なり(同類項)▲私立女學校が出來るとせば是非平民的のものにして欲しい(一平民)

灯ともごろ

▲九日の午前十時過ぎに南大門附近を通り合せた一人の男は門の三層樓の棟の上に大百足が首を振つて居るのを發見した▲俵藤太秀郷が退治した以來斯んな大百足は見た事が無いと云ふので大騷ぎを始めると何にしろ場所が南大門であるから堪らない見る\／五六百人の群衆がワット云ふ騷ぎ▲イヤ百足の胸が見ゆるの電信柱ほどの太い足が見ゆるの三層を七巻き半ばかり巻いて居るのイヤ乃公には百錬の鏡の如き兩眼が見ゆると云ふ騷ぎ▲派出所の巡査が追ひ散らしても追散らしても後から後から押し掛けて來ては黑山を築く▲遂に決死隊を組織して此の大百足の正體を突止めて見ると馬鹿々々しい鉋屑が風にフラ\／して居たのであつた

◉大同江で難破 平南价川郡中南面三所里吳希俊所有の五十石積帆船に大名の船夫乘組去…し船夫の中李基涉(三八)白珍學(二〇)の二名は行衛不明となりたり

◉妾の周旋料 京城岩根町居住朴姓女は同人を媒ひで…て同女を周旋せんと去る五月十三日桂弘を朴姓女宅に招き見合せたるに…

◉佛人が兒を拾ふ 七日午前十時頃大邱南山町在住佛國人經營の…の北方約三十五町を距る地點にて…の兒を發見して…佛人トオミヌシタルに告ぐるや同…は現場に駆けつけて是れを拾ひ取り…

◉連絡船上陸客 九日朝釜山入港新羅丸 一二等客 一等野村一郎、曾國人一名…山田太郎、石川德太郎、三等七十二名

◉乘車…報(六月十日午前…)

天氣 くもり 六月十一日 曇り

目ニ見ヘテズンぐトキク シュマズイタマヌ 井上博士ノ ロート目藥

鐵砲は横濱の金丸銃砲店に限る

致富の栞、商報進呈 大阪堂島米穀取引所仲買 今延商店 電話北長四六八、四六九、四七〇 自宅市長四五六

江戸の氣は今日はなりけり海苔の味
乾海苔 壱帖 上十錢十五錢 中十三錢 並七錢八錢以下
味附海苔 一圓十錢八十五錢 六十錢五十錢 四十錢卅錢
燒海苔 五十錢四十錢 三十錢
海苔佃煮 廿三錢廿三錢 十六錢十錢
東京日本橋通リ二丁目 海苔鰹節商 柳屋

南部鐵瓶 岩手縣二戸郡一戸町 問屋 高見虎五郎

東洋一 新形流行の魁 靴と鞄 內田靴鞄問屋

梅雨の鬱陶しさも晴れゆく心地の 香晶 結晶香水 定價一個入金十五錢 三個入金四十五錢 各地藥店小間物化粧品雜貨店にあり 發賣元 藤澤樟腦本舖

正誤 大正五年六月七日發行京城日報附錄一、京城府公文中「京城府條例第二號第三條第三項中「前項入札ノ」トアルハ「前項ノ入札ノ」ノ誤同第八條第一項中「ヲ減シ指定ノ」ノ下ニ「日時」ヲ脱ス同第三十四條ノ一項第五號中「發見」トアルハ一覽ノ誤 一、同條例第三號第一號表中「三級」トアルハ「五級」ノ誤同第二號表中「二圓」トアルハ「一圓」ノ誤 大正五年六月九日 京城府

●米人に教へられる 朝鮮の少女

□平壤崇義女學校□ □二百名の女生徒□

□平壤は豫て長老派の大本山のやうな土地であると聞きましたが這回山の手の各宗教學校を見て道理こそと思ひました

□府廳の前から山の手の上水口里に上つて赭い煉瓦建の崇義女學校を訪れますと臺所には瘠せ形の背の高い米國婦人が居られました

□婦人は校長のミス、デイリングハム氏といふ方で私の希望を容れて快よく各教室を案內して下さいました

□其處へまた小林たか子氏といふ東京女子學院出身の若い先生が出て校長と共に方々を見せて下さいました

□教室は階上階下共塵一つさへ見られぬ程の清潔さで所々狹いオルガンの練習室もありました

□地下室では刺繍と割烹のお稽古場もありましたが音樂室では女生徒が一齊に座布團の上に安座してゐるのが物珍らしく思はれました

□校長はまた數々の刺繍や裁縫の著物を示しながら去年の共進會では色々メダルを頂いたといつて悅むで居られました

□生徒は大きい女から可愛らしい少女まで二百人餘り居ります、門前にはまた寄宿舍もありました。

●若葉もる琴の音

宮城檢校昇格披露演奏會

△這回大檢校に昇格された宮城道雄氏の御披露と猶ほ門下生一同の夏季大會を兼ねて十一日の日曜正午から箏曲の大演奏會が催されます

△會場は南山町の京城ホテル大廣間で昨年鈴木鼓村先生入京以來の大盛會でございます

△お晝の番組は光田、宮原、若月、宮歳、宮富各孃の可愛らしい『富貴』『四季の友』から三絃、胡弓などが催されます

△猶ほ午後五時からの第二部の演奏は松永令孃の『亂』から後見若月令孃の八雲琴、三絃四部合奏の『都ねどり』一家村青楓氏の尺八など試みられ中村宮藏令孃の『秋の曲』高橋夫人の『茶おんど』等の後總合奏の『八千代じし』が演奏せられます

□千代萩 めちや吉

新茶日は千代萩のお芝居を觀た時『そら千松を御覽お腹が空つても饑ひないつてまあ歎いぢやないか新茶サンなんか空口も我慢が出來ないでせう！』とお母樣に云はれて大に憤慨しました。

其次ぎの日『サア新茶サン早く御飯をお喫りなさい、お魚が不味くなりますよ、サア新茶日サン――』

新茶、先生こそ云ひ『エーヘンお腹が滅つてもへいちやない』

婦人界消息

△坂田あい子氏(坂田鴨海氏夫人) 來る廿五日歸京の筈

△渡邊夫人(高等法院長夫人) 先に京畿の各方面へ御旅行中のところ來週御歸京の筈

神社と教會とお寺

▲妙心寺(長沙洞) 十一日午前正九時から接心會瑞巖老師の無盡燈論提唱があります

▲瑞巖老師巡錫 右の瑞巖老師は朝鮮布教監督の招待に應じ十一日夜佛教青年會館に於て『如何なるか是佛教』に就て講演がある筈であります

▲曹洞宗別院(若草町) 十一日午前九時より讀經例會並に十二三日とも毎夜八時半より座禪あり

―△會いろ／＼▽―

▲京城基督教會(南米倉町) 十一日朝午前九時日曜學校同十時より『ポーロの友情』、午後八時半より『永生とは何ぞや』と題し山本牧師の說教あるべしと

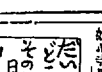
▲日本基督教會(長谷川町) 十一日午前九時より日曜學校午前十時より禮拜說教網內牧師の『使徒選定』同午後八時半より本間禪氏の『正眞に來れ』

▲龍山日本基督教會(漢江通) 十一日午前八時四十分日曜學校同十時禮拜說教及び洗禮式執行伊藤牧師同午後八時半傳道說教『遊子と其父』原田武者修氏

▲メソヂスト教會 十一日午後二時より南大門通三丁目倫敦監理教會にて『子供の日』執行、午後八時より旭町二丁目牧師邸にて藤岡牧師の『權の問題』

○藤山宗匠講演會 茶道の大家藤山宗匠の茶道に關する御はなしは十一日の正午後一時から南山本願寺に於て開催猶ほ施茶の饗應もありどなたでも自由に聞かれます

○花岡婦人會 十二日午後一時から長沙洞妙心寺別院內で北岡婦人會が催されます



回筍と豚肉のさつき煮 筍は茹でゝ短く切り豚肉も同じ形に切る玉葱は縱に二つにわり小口より切り胡麻油を入れ右三品を入れてよくいため水をひた／＼位に入れ砂糖も適宜に入れて煮込むかなり煮つまりたる頃に醬油をさして味をつけ器に盛り胡椒を振りかけ皿に盛り出す

番茶のあとこ

彼の『ドンキーホーテ』の著者セルバンテスはホーマーと沙翁と共に世界の三大寶物と呼ばれた人でありますが▲不思議にも沙翁と同じ四月二十三日に逝くなつて居ます▲それで今年は歐洲は大戰亂中にも拘らず敵も味方も其の三百年祭を擧げました▲西班牙皇帝陛下は英國皇帝陛下に宛て叮重な祝電を致され『陛下の國民と朕の國民とが此の世界的大天才の三百年祭を擧げたことを衷心より光榮とす▲猶ほドンキホーテに對して與へられたる英國多年の歡迎と賞讚とを感謝す』と挨拶されました

圓覺醒を要する奧樣の常識

□□常識や判斷力や獨立心が乏しい□□

◇ある慨世家の博士が今日の日本の奧樣の無能と判斷力の無いとに就き慨歎はしをなさいました

◇「日本の婦人は嫁いでからも夫の收入が年に幾何であるかまたその收入を月々如何に處理するかといふ豫算や決算の智識に乏しい

◇それも其筈で今日米一升幾何するかを知つてゐる奧樣は幾人ゐるであらう多くの奧樣は米の値段も知らないで夫の收入を濫費してゐる

◇更に白米の良否を見別得る主婦は實に稀有である斯樣な事は職責上男子よりも女子の方が一層知つて居るべき筈であるのに主要食の米に就てさへ其智識の乏しい事此通りである野菜魚類其他の事は云ふ必要は無い

◇それらの良否を判斷する力も無ければ土臺にその科學的智識が無いテンデ分らない譯であるこんな有樣で婦人が其職責に對して獨立の位地と氣力とを保つことが出來る乎

◇歐米各國の婦人は今の日本の女の現狀を恰度その通り今から五十年ほど以前に經驗したのである

◇當時の事を端緒に依つて研究して見ると恰度今の日本の女の狀態に酷く似てゐるのではならぬと云つて先づ第一に覺醒したのが獨逸の女であつた

◇彼等の勸勉と儉約とは驚くべきものである廢物の利用に子守し乍らの裁縫に彼等の氣慨は充分認められた米國の女に至つては既に數年前より兵式體操の訓練をさへ行つてゐる團體がある

◇更に最近は三年以內に某國との開戰あるべき見込を以て各州より有志の婦人を募り戰時の作業中婦人に適當の事を今日から研究させてゐる

◇彼等は歐洲戰爭の婦人活動に鑑み既に婦人の本能を家庭外迄働かせてゐる

◇尤も歐米の女を眞似るには取捨選擇が要る併し割烹裁縫、紡績、機織、育兒等は何れも悉く家庭內の仕事であつたものが時世の進むに連れて其等の仕事の多くが家庭外に出て行つた

◇從つて婦人の仕事も世間に移つたといふ事は西洋も東洋も同樣で唯西洋の婦人は仕事に就て行て世間から無智とならず東洋の婦人は仕事も世間に奪はれて無智無能に傾きつゝあるのだ」

商況

東京株式特電 / 債券現物特電 / 公債直取引 / 深川在米特電 / 東京期米特電 / 大阪期米特電 / 大阪株式特電 / 大阪三品特電 / 下關期米特電

雜報

●洋釘値下乎 ●相當の入品 ●荷透方針 ●至一圓方の引下 五十錢乃 ●綿布更に小締

●粉米は暴落 津支那粉米の入 十圓二三十錢 ●燐寸こ共同側 三十圓と決定 ●酒精弗々動く ●市場呼値は區々 九圓は賣兼ね ●票二十一三圓四 ●圓處

行賀仲買店

下關相場 各地商況

○釜山(九日の穀物) ○大邱(八日の穀物) ○木浦(八日の穀物)

三色仲買店

京城正米 京城雜穀 南大門の廻穀 仁川現物市場 生魚市場 仁川期米

▲十日前場 昨正同事の入電二一

利 仲買店

節八十錢と小甘移 八十八錢と押 九十三錢と跳 返し

市場零聞 ▲前場保合ひ ▲保合の裡に小甘 ▲重なる手口 ▲依然小相場 ▲中限肩代り 建玉二千八百五十 石を十二圓〇二錢 肩代

▲大阪の成行 軟派獨占の舞臺 ▲正米の近況 軟派 硬派 賣物の斷 荷主側は存外賣腹 強 滿洲方面及青島 方面並地場の需用 內地移出の不 引合は聊か意に介 及 期の中限に注意すべき定 的現象で下落 持續す將に一時 地場の相場

仁川米豆取引所 十日の八月限

前場 平均値段

寄付	十一圓九十二錢
高値	十一圓九十三錢
安値	十一圓八十八錢
出來高	二萬五百石

▲合同紡績株 北濱だより

演藝案內

黃金館 電話二六三七 黃金町四丁目
新派大悲劇「不如歸」 探偵大活劇「アルタス」

大正館 櫻井町 電話八七三

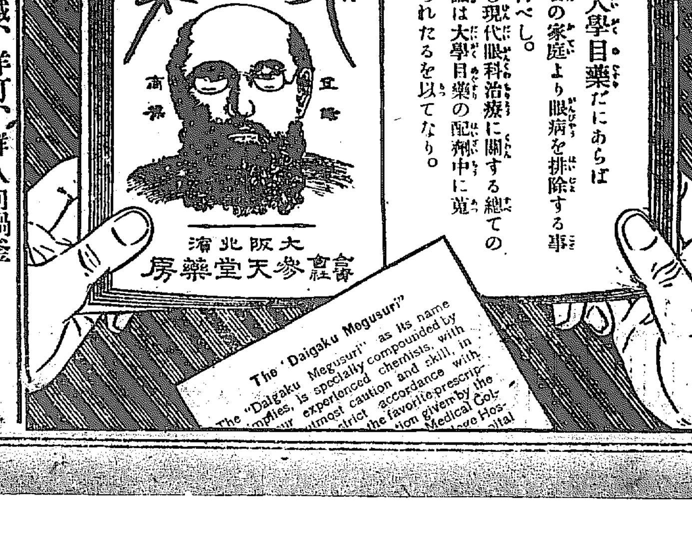
御成座 御成町 電話二九一

浪花館 明治町 電話二六〇

大好評!!初日滿員 ◎義士劇第三編 赤垣源藏 新派大悲劇 潮の花 筑前琵琶村上柱秋出演 美化されたる大正館

賣却廣告 一石油發動機 一臺 但八馬力 一精米機 五臺 但滿水式四臺エングルバック式壹臺 右附屬品一切附 御希望の方は下名迄 大正五年六月八日 大田榮町 村尾伊勢松

自祝開業十週年 支那料理始開 宴會一圓酒付 御滿足を與ふ 三券番藝妓招聘御隨意 京城大和町三 電話七三五番 梅の家



營業品目 洋鐵、洋釘、鮮人向鍋釜 浪平板、亞鉛線、鐵條網 銅鎭鍮板及地金雜鑛類

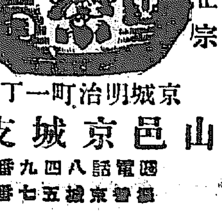
直輸入卸商 天 福田又京城支店 京城南大門通三丁目 電話一二二番 振替京城二九二番

价川輕便鐵道 列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、一三	四、三七	七、二八

比較は最良の撰擇法なり

サクラ正宗 サクラ正宗 サクラ正宗



京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替京城五七番

內科小兒科 外科花柳病 診察 自午前八時至午後九時

西小門町舊醫院跡(電話一三一五) 高井醫院分院 院長正六位勳四等 松井貞治 副院長千葉醫學士 高崎正彥

石五千斤を積み德山面に向け航行中……突に中央部より破損して船は顚覆……敦義洞居朴姓女(二七)が獨身なるを以て訴へ……を乘せたる生徒……る女子を乘てあり……るが棄兒は何人の子なるか判明せず

●連絡船乘客 九日夜釜山入港對馬 耗、進行方向東北東、警戒區域 慶尙南北道の沿岸

宮本武藏

第六十五回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

長東傳八郎に煽てられて西尾孫左衛門直に君公の御前へ出て明後十五日八幡宮の祭日に例年の通り奉納試合がある今年は騎射を催ほして御覧に供へ、猶幸ひ御城内に宮本が逗留いたして居るから宮本にも試合仰付られ、馬術御指南番長東傳八郎と立合をいたすやう御沙汰を願ふといつて申出でました、君公御聞入になつて上田主水を召され右の御沙汰に相成る、主水立歸つて宮本に話しをしたから武藏驚いて　武「折角の仰せでござるが拙者は劔術を重に學びまして馬術は不鍛錬、まして騎射など、申す事は致した事はございません、此の儀は平に御容赦に預りたう存じます」上田主水が　主「併し君公の仰せ殊に八幡宮の祭日であるから勝負は神の御慰さみ、決して恥辱になるといふ程の事ではない御辭退なさらんでお立合下さるやう」武「君公の仰せ其では未熟ながら騎射をいたしませう」といつて武藏が承知をした、其ゆゑ武士は辛いもの劔術ばかりで外の藝は出來ませんとは云はれない武藝一通りは心得て居なければ恥を掻く、武藏はソコへ往くと武藝十八般何でも心得て居るから一應は辭退するがイザとなれば何でもやる、馬術は大坪本流を學び、弓術は日置流に

達して居る、能く馬のお話が出ると大坪流といふ事を申しますが大坪流の祖といふのは大坪式部大輔慶秀入道禪といつて應永年中足利義政公に仕へ馬術の奧を窮め遂に一流を開いて大坪流と唱へ之が大層行はれました、この大坪式部大輔道禪の門人で上田但馬守重秀といふ人が大坪流から出て上田流といふ一派を開き、後佐々木左京太夫義賢が佐々木流を開き荒木志摩守元滿といふ人が荒木流を開きました、之は皆大坪流から出ましたもので、之に對して大坪流を本流又古流とも稱します、先づ馬術では大坪流、其外八條流、新當流、新八條流など、いふ流儀がある、大坪流の祖大坪道禪といふ人の歌に

「馬は船人は帆柱梶鐙　帆綱手綱に心さと波」

武藝を總て稱して弓馬の道といふ至つて難かしいものでございます、宮本先生大坪本流を學んで馬術名譽であるから騎射をいたしませうといつて請合つた、愈々當日に相成ると廣島の城下廣島八幡宮に於ては神職其用意をいたし境内に矢來を結ひ、白地に黑く丸に鷹の羽の紋打つたる幕を四方に引廻し、正面に棧敷を造り城内から番頭の面々出張いたし、足輕に下知して四方を嚴重に固めまする、君公御參詣了つて棧敷へお這入りになる、家老重役何れも御供をして棧敷へ入る、矢來の中には家中の若侍、其外家中の男女拜見を許され、矢來の外には參詣の町人老若男女黑山の如くドン〱〱といふ太鼓の音と共に騎射の爭そひが初まる、第一番に東の幕から現はれ出でましたのは御家中に於て吉田流の弓術指南番二百五十石を頂戴いたす松田新右衛門といふ人、黑紬の衣服に皮袴を著し、綾藺笠目深に被り重籐の弓に二手の矢を取添へ黑き馬に打跨り一鞭當て丶乘出す、西の幕より立出でたるは家老淺野甲斐守殿の甥に當る藤懸市之助といふ人物大和流の騎射を能くいたすに依つて若年ではあるが其へ立出でる、萌黄狩二重の衣服に紫染の皮袴を著し、綾藺笠を被り、塗籠籐の弓に二手の矢を取添へ鹿毛なる馬に跨つて其處に乘出だし、兩人殿の在す棧敷へ向つて一禮いたし左右に分れてハヨーツと乘出しトツ〱〱トツ〱〱馬を躍らせて乘廻はす、三間毎に竹笠を懸けて的としてございます、其竹笠を的にして馬上に於て之を射る、殿を初め家中一同其他の見物目睜きもせず見て居ります其の中松田新右衛門竹笠三つ射落して勝と相成る、流石弓術の指南番だけあつて藤懸市之助殘念乍ら敗れを取りました、第二番には松田新右衛門の弟松田新十郎今一人は同藩に於て大和流の弓術指南番岡崎織部の高弟堀口七之助、互ひに弓矢を携へ馬を躍らせて乘出だしハヨーツトツトツト〱馬蹄を懸けて乘廻はす。

パンもよし
キヤラメルもよし若葉かげ
京城明治町電話二八七〇番　木村屋

入院隨意（診察夜九時迄）
泌尿器病專門
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　疳瘡　皮膚病
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院
電話四一九番

六月十二日九星
舊五月十二日庚辰
本命二黑坤開伽識

▲二黑● 納りのつかぬ事有る日新事見合西方は吉晴朗 坤▲三碧● 放心する事有る日注意外出手控ふ事は吉女難おこしものに用心▲四緑● 外見美にして内不印の事有る日新事手控ふ事は吉買物に用心せらるべし▲五黄● 働き損となること有る日新事手控ふ事は吉又敗北を防がるべし▲六白● 盛人の日轉居入學金談名利願望非常達成用心▲七赤● 新調の日轉居開業入門名弘用心嫁娶入籍相談皆吉▲八白● 見込主義の事有る日新事手控ふ事は吉保證請負等なせぬがよし▲九紫● 腿の舞ひ日轉居旅行婚姻吉女子の獨立業を始るに妙待人來▲一白● 約定規の事有る日新事手控ふ事は吉萬丁寧にせらるべし

スグおつけなさい!!
今治水
の驚くべき奏效
島村醫學博士有效御證明の「いまなをるはぐすり」
今治水は齒痛一切に非凡なる特效あり!!
（主效）蟲むし齒の痛、神經の痛、齒の根の痛、齒齦の痛、歯はじしの痛、逆上ぼせる齒痛、發る齒痛、發る齒痛
價十錢、廿錢、消毒綿及ピンセツト付
本舖 大阪心齋橋 東京蒲田町 丹平商會藥房
全國到る處の藥店に取次販賣す

洗つた後の……生地の色までも白くなるは……
最新科學の進步が產み出した
クラブ白粉と
クラブ美の素白粉
普通の白粉では絕對に眞似の出來ぬ特長
クラブ美の素白粉とクラブ白粉とは、何れもクラブ洗粉本店化學研究部新發明の獨特の美身劑が配合してありますから、附けて高尙で非常に美しく、洗つた後も不思議に生地の色まで白くなるといふ作用を具へて居るので、此點は他の白粉では絕對に眞似の出來ぬクラブ獨特の長所でございます。

お顔剃後に
剃刀まけせず
素顔を生々と
美くしくする上に
お化粧したやうでなく
ホンノリと色白くなる
新しい美容液
レートフード

東京　平尾賛平

京城日報
第三版

十一日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七拾錢 …
廣告料 …
發行兼編輯人 …　印刷人 小川三之介
發行所 京城大平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 …

大阪三品 …

大阪期米特電（十日） 後場寄限 …十二圓九十三錢止め七十九錢△中限寄付十二圓四十六錢止め三十三錢△先限寄付 …

仁川米豆取引所 …

▲依然保合 …り六錢と騰りたるも賣物多く …其他買にて九十錢さ押し一錢と匠 …九十錢ドタと散… 依然保合を脫出 …きか

▲大阪の成行 に就ては每報の如くなるが買落城後の場面としては存外下げ澁り居るやに思はれる斯くして高下を採り居る裡不知不識仕手の移動を來し終に立合の機運に向ふには非ざるな

十日の八月限 … 値段 六月限 七月限 八月限 …

京城論壇

朝鮮佛教の前途　李能和

佛教にては常に三世因果の法を說く。三世因果とは何か。現在に喫する果は、即ち過去の種にして現在に種したる因は、未來に喫すべき果たるの謂なり。今玆に予の論せんと欲する者は、朝鮮佛教の因果也。

朝鮮上古、即ち三國時代に於ては國風民俗、鬼神を崇拜し、巫覡を尊敬せり。其の際に佛教輸入され、佛教の功德と、福利の諸說は、非徒鬼巫を壓倒したるのみならず、周公孔子も、尙知らざる所として、君臣上下の、佛教に對したる信念は堅篤となれり。信念が堅篤となりたる故に佛徒に高尙なる人物輩出し、治化を補助し、文物を莊嚴にし、民風を柔和にし、士氣も亦淳淨になれり。

新羅人は、菩提樹を種植して、高麗人は、成熟したる菩提果を遺給したり。雖然、麗末の僧風は、恰も鮮末の儒風と同じく、諸山門は宗趣の優劣を是爭ひ、勢力の高下を是尙して拔寺を斷行したる結果、朝鮮佛教は紀綱解弛し、猶弊滋甚しかりき。此理由の下に、李朝大宗大王以後減宗衰運漸臻したるものにして、第一、朝廷に在ては、儒臣政權を換んで抑壓したる者多く、山野に在ては、名士世評を忌み出家する者無かりき。慵齋叢話に、本朝、不崇釋教、名家子弟、不得祝髮、以故、緇徒無知書者云々。

既に佛家に高僧少く、自ら下劣なる地位に處して、高麗前會、即ち士大夫間にも、侮蔑を受くるに至れり。雖然、李朝幾百年來、護法菩薩は深く王宮に在り、女官の輩、即ち是也。山中法侶が此一線路の外、護勢力を得ざれば、朝鮮寺刹が皆已に荒廢に歸したるも故なきに非ざる也。或は此を以て僧風が墮落したりと、種々口實を作るものあるも、平心之を觀れば、此は寧ろ生存自衛上の自然的現象と謂はざるべからず。若し之れに甚しく苛責を加ふるあらば、狹量の言論に過ぎずと云ふべし。

然則ち麗僧所造の惡因は、過去五百年間に、朝鮮僧侶が其惡果を消受せしものなり。自ら此が善因を作り未來の善果を收めざるべからず。挽近以來當局に於ては、外護獎勵の結果、朝鮮佛教は勃々たる起色を帶ぶるに至れり。古語に曰く人能弘道道非弘人。と今時に當り道を能く弘むべき其人を必須とすべし。

不佞十年以來、佛教に歸依して、朝鮮寺刹三十本山の總滙機關たる、覺皇教堂に毎日參進し、懈怠無く、佛に拜し、僧と交り、所見の者も在り。所聞者も在り。朝鮮僧侶の學識程度を舉論すれば、假合平均點は缺くと雖も、德望を有する宗師も尙多し。才識を有する法侶も亦少からず。各寺院に學人數も十年前に比較すれば、同日に語るべからざる有樣なり。將來に朝鮮佛教が向上進步すべきことは、目を拭うて而して之を待つべき次第なり。

然るに朝鮮の僧學は、由來習慣に依るものか、禪より講を推重する傾向を有す。此は畢竟朝鮮僧侶が修治する禪學は、即ち臨濟宗の看話禪なればなり。參須實參悟須實悟との嚴格なる宗旨なり。太古普愚と懶翁慧勤の如き、透徹したる見地に到達して、拵喝の下に千人を自廢せしめたるは、雖事と思考し、經傳を多修して、知解宗師ならんとするには、文字上の解說、或は法則的講演等、講を藉で相容れざるの計なりと稱して、禪ろ便宜を得るの內情無にしもあらず。清虛禪師の捨教入禪せる教訓を奉守するが如きは、其の人絕無僅有と云ふを得べし。是の如き即ち禪是佛心にして、教是佛語と云ふ。僧侶たる自身に對する修養上にも、人民に對しても布教上の佛語なり。崇尙よりも佛心の研究を以て僧侶の本分當然と爲すべし。現今の法侶は必也清虛の宗旨を覺悟して、後進を教導すれば、朝鮮佛教の前途は有望中に更に有望と云ふべし。

內地臺灣所觀　漢城銀行專務　韓相龍

三、臺灣の產業

▲畜產　畜產は副業的養豚業の外見るべきもの少かりしが、當局者は夙に家畜の改良に意を用ゐ洋牛洋豚及び印度牛を輸入し農事試驗場及び種畜所に於て之れが蕃殖を企て又農會其他團體に貸與し改良蕃殖に盡を致さしめ其結果優良ならざるなきに至れり、今大正三年度の統計に見るに家畜數一百八十五萬頭其價格二千二百萬圓とす豚肉は本島人の最も嗜好するところにして生活程度上進に伴ひ消費量益々增加す故に豚は重要なる資源として年月之れが飼養を見ざるなし。豚の飼養は一戶平均三頭強を飼養せる割合にして其飼養管理は極めて丁寧親切なり。

役牛は本島に於て水牛及び黃牛の二種より成り專ら耕牛として使役す。水牛は性質溫和體驅大にして力最強く粗食に耐へ黃牛は體驅大小不同なりと雖も性質柔順力強く進步敏捷なり水牛は水田の耕作に適し、黃牛は陸田に適す水牛の數量は二十八萬頭黃牛は十四萬頭計四十二萬頭なり水牛黃牛は共に食用に供するも水牛は極めて不味也

本島には家鴨の飼養は農家の副業として極めて盛なり。或る地方にては農家一戶に於て五百羽乃至千五百羽を飼養し、六七歲の小供が一本の竹竿にて多數の家鴨群を自由に操縱するを見る實に奇觀と云ふべし、家鴨は卵食用として豚肉に次ぐ。其卵は鷄卵に代用す、而して卵は人工孵化して家鴨となる。

▲工業　本島の工業を見るに製糖及び製茶は二大工業として前述の如し、次は各製造業を略述せんに

製帽業は所謂臺灣パナマ帽として世間に名の知られたるものにして各般事業の發達に伴ひ之れ亦漸次發達に向ひつゝあり帽子の種類は林投帽及び大甲帽の二種あり林投帽は林投の纖維にて製造したるものにして色白く大甲帽は藺の纖維にて製造するものにして色黑し大甲帽の需要は近年大に減退し其製造も極めて衰頹するも之れに反し林投帽は急速なる發達をなし其產額一百四十萬圓に達す

製紙業は本島の竹材豐富なるを以て古來之を以て製紙するもの多く然れども其製法は支那固有の粗法にして細竹を原料として粗惡紙を製造するものにして其產額十四萬圓とす

製油業は本島に於て落花生、胡麻、菜子、茶、及桐にて製造する油ありと雖も一年產額五十萬圓に滿たず島內の需用を充たすに足らず年々大豆油白絞油の輸移入を見るの狀態なりとす

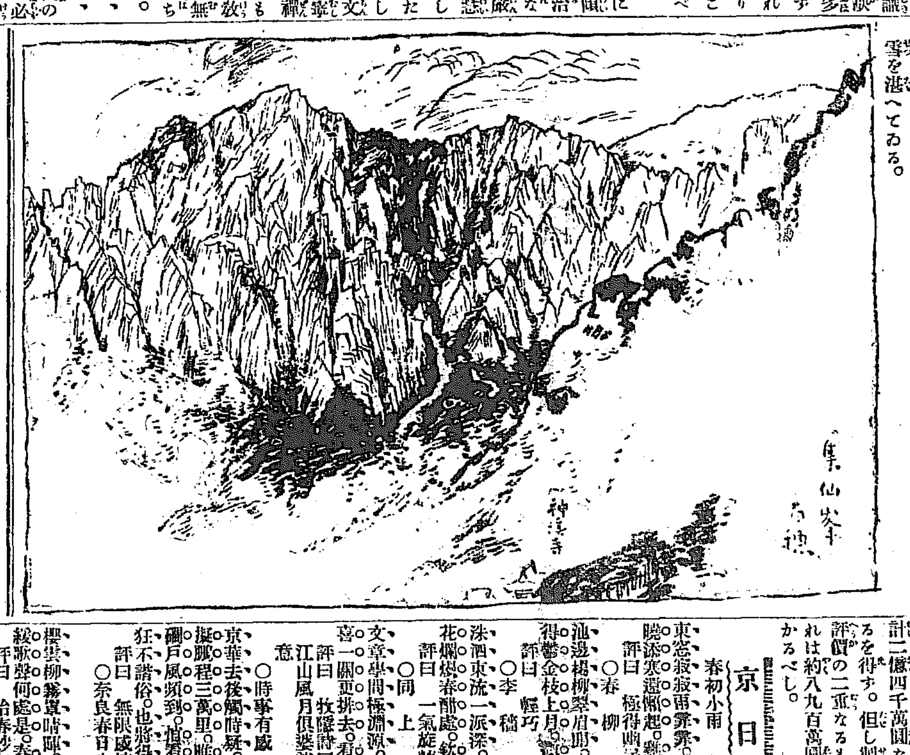
竹細工は本島に於ける竹器の需用至つて多大なるを以て何處到る處之れが製造を見ざるなし然れども其製品は概して粗雜にして島內の需用に止まりしが總督府は臺北、臺中、南投及び嘉義の各所に竹器傳習所を設け補助獎勵を加へ之れが改良に努めたる結果今や各種の技術的製造品をも產出するに至り其產額二十萬圓とす

製藍は本島に栽培せらるゝ木藍、山藍の二種を原料とし潑解法により石灰を混入して之を製す之れ即ち泥藍なり近來人造藍の流行の爲め多少影響を受けたるも時局の關係上染料騰貴により有望に屬す其產額十二萬圓とす

製麵の產額は六十萬圓にして其種類は大別して麥粉製、米粉製、及び豆粉製の三種なり本島人副食物として嗜好するものなり

其他機械二十五萬圓、陶器品三十萬圓、製菓五萬圓、製藥…十二萬圓、酒造業百三十萬圓、製粉及び精米業の精米價格廿萬圓脫殼籾價格七百萬圓とす

以上の工業に見るに本島は工業原料に富むに拘はらず從來の工業は其規模及び方法は至つて狹小幼稚なりしが、總督府は諸般の施設經營を充分に致し漸次工業界の面目一新し之れに依つて機械的工業の創立を見るのみならず、企業の發達と共に小規模の者は漸く合同組織をなし大規模に移るの狀態を呈し、新式工場の設置又尠からず、臺灣の工業は土地產物の豐大と共に將來大に有望なりと云はざるべからず。以上述べたる臺灣產業の生產力價格を統計するに二億四千萬圓なり、一攫を喫せざる評價の二重なるものありとするも之れは約八九百萬圓と看做して大差なかるべし。



金剛山寫生　平福百穗

△金剛山ホテルから十六丁程で神溪寺に至る集仙峰の溪間には尙ほ氷雪を湛へてゐる。

京日詩壇

春初小雨　栗原華陽

東窓寂寂雨霏霏。求食雀鴉廻屋飛。春曉添寒還懶起。雞鳴報午未開扉。

評曰　極得幽居之情

○春柳　笹島紫峰

池邊楊柳翠眉明。裊娜輕盈嬌欲猜。邀得鶯金枝上月。笙吟低唱倚書臺。

評曰　輕巧

○李穡　一番瀨雪山

洙泗東流一派深。管興斯道振雞林。李花爛熳春酣處。欽見門前栽柳心。

評曰　一氣旋轉後半何等妬筆

○同上　阿部無佛

文章學問極淵源。清節高風百世存。最喜一關更拂去。看來數外別乾坤。

評曰　牧隱詩曰身逃名網即樂土、江山風月俱婆娑、一結贅來大得此意

○時事有感　岡山牧雲

京華去後觸時疑。安分笑吾無所期。何擬鵬程三萬里。唯吟鳥籍一聯詩。空礪戶風頻到。指看松窓月獨窺。人道疎狂不譜俗。也將得失奈難移。

評曰　無限感懷無限寓意

○奈良春日次望月桂軒韻　宮澤雲堂

櫻雲柳霧買晴暉。神鹿成群搭影幾。綾綾歌聲何處是。春風吹暖美人衣。

評曰　冶春妙句

日報歌壇

□はかなき心　京城　樋下田律留

洗ひ髮のふれなばちらむ様よりもはかなき心人に知らゆな

忍びごと音締も艶にさつき雨降りしくまゝに黃昏れてゆく

□硝子の眼　京城　吳智香

人形の硝子の眼さへ我れを見て悲しむ如し五月雨の頃

名許りの露臺の上に白き花五月雨降る日つくねんと咲く

□月給日　大邱　山田遊勇

月給日店の男はいそ〳〵と買ものさげてかへり來るも

活動寫眞ガタダデ觀ラレル

良煙を喫うて「活動寫眞が無料で見られる」

滿鮮煙草界と活動寫眞界に優越せる斯界の双流行兒

百圓票空袋貳拾枚毎に御希望の入場券壹枚進呈

優美館　黃金館（天然色特約）　大正館（日活特約）

引換場所
明治町一丁目　小寺煙草店
本町二丁目　增田煙草店
本町三丁目　前川煙草店
黃金館前　森田煙草店
黃金館前　吉田煙草店
大正館前　赤瀨煙草店
優美館前　田中煙草店
南大門市場　綾文煥
東大門市場　扈根澔
鍾路角　崔君三

しらぎ空袋拾枚毎に御希望の入場券壹枚進呈

良煙を喫うて「活動寫眞が無料で見られる」

東亞煙草株式會社

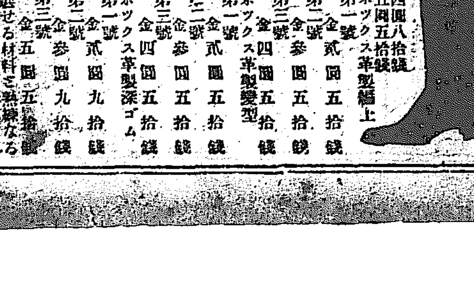
信州ある　東京三金の特賣

長靴（ボックス製）　長サ一尺三寸 金四圓八拾錢　長サ一尺五寸 金五圓五拾錢

ボックス革製編上　第一號 金貳圓五拾錢　第二號 金參圓五拾錢　第三號 金四圓五拾錢

ボックス革製襞型　第一號 金貳圓五拾錢　第二號 金參圓五拾錢　第三號 金四圓五拾錢

ボックス革製深ゴム　第一號 金貳圓九拾錢　第二號 金參圓九拾錢　第三號 金五圓五拾錢



右の靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適なり

▽御注文の節は種類と足型の寸法御通知あれば代金引換小包（送料實費）にて送附す

東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝一六九〇　振替東京一七一三番

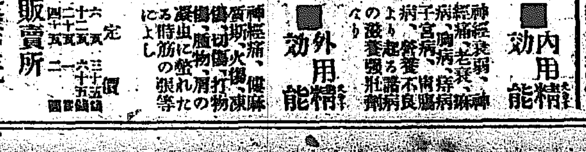
（最新目錄進呈）

特約店
京城本町二丁目　北島藥房　電話一四八五番
京城本町二丁目　古城藥房　電話七六一番
京城南大門通五　廣岡藥房　電話二〇六一番

人蔘エキス製造發賣元　朝鮮名產藥種藥品一切　京城本町一丁目　津村兄弟商會

人蔘直引大販賣所

朝鮮總督府許可



■內用精　效能　神經衰弱、老衰、神經痛、痲痺、胸病、痔病、子宮病、脚氣、胃腸病、不良より起る諸病の滋養強壯劑なり

■外用精　效能　神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打撲傷、腫物、肩の凝、蟲に螫れたる特筋の張等によし

定價　六十五錢　一圓三十五錢　二圓二十五錢　四圓五十錢 …

◀書籍御案內▶

中島錬編著　蒙古通志　定價三〇〇 郵稅一八
第八版　蘇峰文選　定價三五〇 郵稅二四
德富猪一郎先生著　大正政局史論　定價二〇〇 郵稅二〇
玉乃一誠著　撞球指南　定價一五〇 郵稅一〇
横山健堂著　乃木大將（上製）　定價二二〇 郵稅二〇
横山健堂著　乃木大將（並製）　定價一八〇 郵稅一二五
村田峯次郎著　高杉晉作　定價一〇〇 郵稅二〇
閨房より見たる　女の一代　小山田謙著　定價一八〇 郵稅一〇
吉本襄著第七版　元田先生進講錄　定價一八五 郵稅二

發賣所　京城日報代理部　電話六六〇番　振替三〇〇〇番

北京各國駐屯兵數

陸軍省の調査に據れば目下北京及び其の附近に駐屯せる各國兵數は左の如し（東京特電）

▲日本五百五十名▲英國五百名▲佛國四百名▲露國五十名▲米國千五百名▲伊國三十名▲和蘭三十名▲獨墺國約五十名

北京平穩と金融恢復

北京は最近二日間全く靜穩にして特に注目すべきは銀貨紙幣の價格は急速の勢を以て平價に復し同時に銅貨紙幣も券面額を以て授受されつゝあり（上海特電）

奉天の服喪令

奉天省にては六日より向ふ二十七日間官民喪に服する旨九日服喪令を發せり（奉天特電）

故袁氏追悼會

十日午後三時より巡按使署に於て故袁總統の追悼會を營みたるが外國領事等も參會せり（奉天特電）

勃軍侵入と聯合軍

英國外務省の發表に依れば希臘政府が其の領土を勃牙利軍の侵入の儘に委したる態度は聯合國側をして石炭の輸出及び英國諸港に於ける希臘の船舶に關し豫防手段を取り以て軍需品の敵國に輸送せらるゝを防ぐべき必要を生ぜしめたり聯合國は希臘諸港に對する制限的方策に關し目下考慮中なりと（倫敦電報）

佛國內閣員倫敦著

倫敦來電に曰く佛國ジョッフル將軍を始めブリアン、ミユソリーロック、コチン其の他佛國內閣員は英國內閣員及び軍事顧問等と協議の爲め九日朝倫敦に到著したり

領袖會同顛末と覺書

同志、政友、國民の三黨は三領袖會同の顛末に付き十日午後各本部に於て協議會を開き席上各黨領袖は之れが顛末を發表したるが第三回會同の際に於ける三浦子加藤同志會總理原政友會總裁犬養國民黨總務の署名に成る覺書左の如し

（甲號）外交及び國防の方針は努めて一定し之が遂行に當りて各自黨派の消長に關せず誓つて一致協同するは勿論外界一切の容喙を許さゞる事

（乙號）對支方針は東亞永遠親交の目的を以て相互利益の增進を圖る事國防には相當の限度を定め其の範圍に於て按排處理せしむる事

右に對し各派共多少の質問ありたるも孰れも之を承諾するに決せり（東京特電）

工場法修正案

工場法施行令の修正案成り樞密院に回附せられたり今回は主として樞府案を基礎とし作成せるものなるを以て無事同院を通過すべし（東京電報）

學制案再調查

行惱中の學制案は新規に一切の調查を仕直す事に決したり（東京電報）

敍位

十日午前十時宮中に於て敍位式を行はせられたり其の主なる者左の如し（東京特電）

東京帝國大學總長 從三位勳二等男爵 山川健次郎
敍正三位
從四位勳二等 能勢萬
敍正四位

藤澤參政官著木

藤澤參政官は十日午後六時木浦著一泊の上十一日の朝出發の筈（木浦特電）

撫順と交通機關

撫順は今や滿洲に於ける大工業地として前途に多大の望を囑せられ居る處なるがモンド瓦斯利用の硫酸窒素肥料製造事業其他の工業起るに伴れ交通機關の設備亦甚だ必要なるものあり撫順興京間の鐵道に就ては我國に未だ其の敷設權を獲得し居らざるも此間の交通設備につき何等か便法を講ずるの必要あるべく假に輕便鐵道を敷設し日支合營の下に追つて之を廣軌に改築するも可なるべく若し其れ開原海龍城間の鐵道敷設は謂ゆる滿蒙五鐵道の一として既に其の權利を獲居るを以て早晚著工せらるべく而して本線を海龍城より撫順に敷設するは工業地として將來大に發展すべき望ある撫順の上より見るも又地形上より看るも經濟線として頗る有利なること明白なれば恐らく其の敷設を見るも近きにあるべし是等交通機關にして成らば撫順は本溪湖方面にて安奉線と連絡し一面運河の水利を應用して滿洲工業の促進に非常なる功果を奏するならむ（大連）

日滿貨物連絡輸送の成績

五月中に於ける朝鮮經由及び發著日滿聯絡貨物の輸送成績を見るに日本側著は皆無にして全部東淸線著に限り東淸線も殆んど全部哈爾賓著にて雖些小の齊々哈爾著あり齊々哈爾著荷の數量は小なれど今回始めての現象にして日貨の次第に浸透し行きつゝある一證として注目に値ひす、其數量內譯を見れば

內地發哈爾賓著　六九〇噸
朝鮮發哈爾賓著　二八一噸
同齊々哈爾著　〇噸四
合計　九七一噸四

等にして前年同月に比し總數量に於て三百五十七噸は前月に比し百零三噸を增加せり、今內地發主要貨物の內譯を見るに

綿百九十五噸（前月對比百九十三噸增）綿布百九十四噸（同四噸減）メリヤス製品百噸（同四十噸增）紙七十八噸（同八噸增）綿絲三十六噸（同三十一噸增）麥粉用袋十八噸（同十六噸增）

等にして朝鮮發の貨物は全部白米のみなり朝鮮白米に一時相對抗して輸送せられたる蘭貢米は去る四月以來影を收めて皆無の姿なり

米種改良と赤米

朝鮮米種の改良面積は南鮮方面に於て著しく普及し其の玄米は之れを內地に移出し其の品質米粒必ずしも多く劣らず此の勢ひを以て進めば先づ遺憾なきに庶幾きも然も唯朝鮮改良上米に一の目立たる缺點あるは赤米の混じ居る事なり赤米の混合は第一外觀宜からず實質上に於ては赤米の混じ居る玄米は其の赤米を白米にするに非常の搗力を要する爲め悲いて普通玄米の搗減りを增すの不利あり爲めに米商の喜ばざる所なるが赤米の驅除は米種改良に引續き閑却し難き事なるべく先づ採種田の播種に際し適當の注意を加ふれば其の改善に多くの困難なかるべしと云ふ

鮮銀對支借欵成立

奉天官憲との間に百萬元

九日夜奉天支那官憲と朝鮮銀行との間に百萬元の借欵成立せり利子年六分五厘手取九十五圓諸拂金二年後擔保は電燈電話と商阜地全部金額は全部金票にて交附し支那側は之を銀行救濟に使用する筈なるが猶奉天金融の根本的整理に關する取極め日支間に成立す（奉天特電）

本年の麥作豫想

大麥五百七十萬石
小麥三百四十萬石

大正五年の麥作は冬季の氣候前年に比し高く且つ激變少かりしを以て寒害を蒙りたるもの極めて少く良好なる越冬を爲したり、然るに春季に於ける氣溫の上昇極めて遲く且つ降雨の量少かりし爲め一時生育を抑制せられたりしが四月に入り氣候大に進み降雨亦多かりしを以て生育頗る進み概して良好なる發育を遂げたり今六月一日現在の作況に徵するに其收穫豫想高は大麥五百七十一萬一千百五十三石、小麥三百三十八萬五千六百三十六石にして之を前年の實收高に比するに、大麥五十一萬九千五十三石即ち一割、小麥十八萬五千六十一石即ち一割五分四厘增收の見込なり、大小麥收穫高累年比較を示せば左の如し

年次	大麥石	小麥石
大正元年	四、二八三、二四五	一、〇八九、四六一
二年	五、二三三、八〇五	一、二七〇、八九八
三年	四、六三一、三九五	一、一四二、〇〇六
四年	五、一八二、一〇〇	一、二〇〇、五七五
五年豫想高	五、七〇一、一五三	一、三八五、六三六

水產加工と慶北

鮑罐詰、鯣、海參、煮乾鰮、鹽鯖、鹽鰤、鹽太刀魚等は慶尙北道に於ける主要水產製造品にして之れ等は何れも漁業者自身の手に依りて製造せらるゝを普通とせるが、昨年來新に鮑罐詰工場一箇所を增し且つ原料の蒐集其他に石油發動機船を使用する者及び其傍ら貝鮑の粗製を經營する者現はれ、又た秋期甘浦在住の內地人共同して鯖切組合を設置せり、而して鬱陵島產の鯣は從來尾張形を本位とせしが近來支那に於ける價格振はざるより漸次其製法を改めて對州形或は於多福形となし販路を內地に需むる者あり、又た鮑罐詰は支那不穩の影響に依り價格低落の止なきに至りたるも鹽鯖、鹽太刀魚は近時下關を經由し臺灣及び支那に搬出さるゝに至りしは斯界の爲め喜ぶ可し、然れども昨年は鰮の不漁に遭遇せるより煮乾鰮、鰮搾粕の如きは產額減少し且つ鰮の罐詰は原料の關係上製造の運に至らず、尙ほ鯖、鰤は運搬の便宜上多く鮮魚の儘輸移出しつゝあるを以て產額減少の狀況に在りと

林大使招待會

林大使の招待會は十一日午後四時より花月に於て開催のことゝなれり出席者は總督府各部長官、局長、所屬官署主要職員其他著知の諸氏二十餘名にて民間側は恰も支那視察中のもの多き爲め出席者少し

土地調查の外業

臨時土地調查局の測地作業は南方より漸次北進し目下の所咸鏡南北道平安北道の國境地方にて盛んに事業を進めつゝあり多分該業は來る十二月末を以て終了すべしとの事なるが其上は外業各班に屬する內地人職員百餘名鮮人千數百名は免官の止むを得ざるに至るべし尤も日鮮人共郡廳其他の官廳に轉任する者も多少は生ずべしと

土地臺帳の引繼

臨時土地調查局にては本月末日迄に左記各郡に對し土地調查終了に付土地臺帳及び地稅內示帳を引繼ぐ由にて目下切りに準備を急ぎつゝあり

▲京畿道　高陽、坡州、漣川、楊州
▲忠淸南道　洪城、保寧
▲慶尙北道　聞慶、醴泉
▲慶尙南道　宜寧、咸安
▲平安南道　江西

古海總長の招待

古海警務總長は目下講習會出席の爲め入京滯在中なる全道公醫三十九名並に公醫講習會講師たりし醫官其他一同を十二日午後七時より朝鮮ホテルに招待し晩餐の饗應をなす可し

島津男退京期

歸朝の途林大使一行と共に朝鮮ホテルに滯在中なる島津男爵は尙ほ同一行と共に十一日午後七時五十分南大門驛發列車にて退京す可し

庄田大佐視察

臨時土地調查局囑託參謀本部陸地測量部課長庄田工兵大佐は十二日愈々入京の事に決定せしが大佐は本局にて事務打合せ後鎭海方面の地形測量事務を視察する由

第二部長視察

入京中の各道第二部長は十二日臨時土地調查局に出頭調查事務を視察する由

公醫講習會終了

警務總監部主催にて六月一日より總督府醫院內に於て開講中なりし全鮮公醫講習會は愈々十日を以て講習を終れり而して古海警務總長は十二日午前十時講習員一同に對し警務總監部會議室に於て一場の訓示ある可しと

各府郡主任書記會議

京畿道にては來る二十六日より向ふ四日間道廳內各府郡主任書記會議を開會することに決定し目下其準備中なり

人事消息

▲山本好造氏（咸鏡長工銀行支配人）十日夜入京山本旅館へ
▲安倉三吉氏（大阪亞鉛工業技師）入京中の處十日夜退京

■南言北語■

故キッチナー元帥の逸事は却々多いが餘りまだ人の知らぬ所を二三御紹介しよう▲元帥が四十二年に日本漫遊の途次十月頃に奉天に來た▲何分印度に久しく居たので滿洲の氣候の寒いのに閉口して軍服の上に始終ドテラを引つかけて居た▲元帥の爲人を餘り知らぬ中は元帥の無作法に聊か驚いて居ると▲恰度故伊藤公が哈爾賓で倒れた急報が來た▲元帥是れを耳にすると痛惜非常に憤慨しブン／＼當り散して近寄れなかつた▲其の柩車が奉天に來た時などは元帥は片時も放さなかつたドテラをはねのけ軍服一枚に外套も著ず▲寒氣を冒して停車場に出迎へて柩の側で長時間祈禱を捧げ▲大偉人を殺したものは露國だと迄極言した相な▲其れから奉天で支那兵が元帥に敬意を表して整列捧げ銃の禮を行つた時▲元帥は忽ち一兵の前に進み「其麼敬禮は無いッ」と一喝して自ら正してやつた▲日本へ來て宇都宮地方の大演習に陪し行幸に供奉し參らせた時▲秋雨蕭々たる中老若男女が泥濘中に土下座して奉迎するを親しく見た元帥は▲日本の戰爭に強き理由は是で始めて分つた、もう演習を觀るの要はない▲と云つて其夜サッサと行李を纏めて日光に去つた▲元帥は有名な女嫌ひで獨身であつたが或時英帝に謁見の際陛下は戲れに「卿は戀を知り居るか」と仰せられた▲處が元帥は眞面目になつて「戀は固より存じて居ます」と意外の答へに然らば「卿は誰に戀し居るや」と重ねて仰せらるゝと元帥は言下に「恐れ乍ら陛下に」▲世界から惜まるゝ元帥の如きは不測の奇禍に罹つたが▲八十六の老體で强度の神經衰弱に罹つても容易に參らんのは墺帝▲不治の咽喉痛を病んで大手術を受けてもピン／＼して居るのは獨帝▲世の中は妙なものぢや

染料問題

如何に之を解決すべきや

中央試驗所技師　今津明氏談

■初期に於ける列國の努力

然るに當時特許法の不備なりし爲め佛國製造家は直ちに大規模で同一染料を製造し『モーブ』なる名稱を付し、絹及び木綿の染色及び捺染に使用し、北製品は盛んに英國に輸入したり。茲に於て英國の捺染業者も亦之に對抗すべき必要上『アニリンパープル』を使用し、著しく其需要を增加し工場の小なる爲め供給は常に需要に伴はず、已むを得ず一時代用品を使用するの盛況を呈せり。

▽化學者大に優待さる　かくの如く鼈甲品モーブの發賣は『アニリンパープル』隆盛の原因となりしが而も利益は大規模製造者たる佛國人に奪はれ『モーブ』なる名稱が寧ろ人口に膾炙するに至れり。パーキン氏の『アニリンパープル』發見に後るゝ事三年にして佛國化學者フェルグイン氏は有名なる赤色染料マゼンタを人工的に製造することを發明し、斯くる美麗なる赤色染料は人工的に製造せらるゝの事實は學者及び實業家に多大の興味を與へ、學理及び經濟の兩方面より染料の人工的製法は盛に研究せられ、實に現今隆盛なる染料製造工業の基礎を茲に作るに至れり。獨逸國に於ける大染料會社發達の歷史を見るに『マゼンタ』製造に初まれるもの多し。例へば『ヘキスト』社の如きは現今千二百萬圓內外の資本を有し九千人の使用人を有する大會社なれ共、今より五十四年前には僅かに三馬力の蒸氣機關と七人の職工とを有する一小『マゼンタ』製造所に過ぎざりしなり。

『マゼンタ』の發明に後るゝこと九年（明治元年）獨逸に於てはリーバーマン氏が茜根の著色成分にして有名なる『アリザリン』を人工的に製造することを發見しこれと同時に英國に於ても『パーキン』氏亦同一の方法を發見し、然も兩人の特許出願が同年同月同日なりしは實に偶然ながらも奇なりといふべし。この人造『アリザリン』の製造工場は先づ英國に起り、其後幾多の變遷を經たれども今尙存在せり。明治元年には茜根の產額七萬噸なりしが翌二年には人造『アリザリン』一噸を試製し同三年には四十噸に增加し、同四年には二百二十噸に增加せり。かく人造品は漸次天產品を驅逐し其後久しからずして茜根の栽培は全く跡を絕つに至り現今にては茜根の標本を得るさへ困難なる有樣なり。

かくの如く人造染料の開祖は英國青年化學者パーキン氏にして、染料製造工業も亦明治八年頃迄は英國に於て殷盛を極め、總本家の如き觀ありき。然るに其後英國に於ては化學者に乏しく、且つパーキン氏の師事したるホフマン教授を始め、技術者は多く獨逸人なりしを以て、此種工業の前途頗る有望なるを看破せる獨逸は禮を厚うしてホフマン教授以下の化學者を祖國に召還し、大に化學研究を盛にし染料製造工業の基礎を作り、且つ其奬勵に努力せり、故に最初の獨逸染料工場技術者の多數は英國工場に於て經驗を積るものなりき

困窮して竊盜

山口縣吉敷郡椋野生れの松村一郎（二）は昨秋某方に忍び入り紬一疋下駄一足を竊取し本町署の手に取押へられ[illegible]け出たる[illegible]

惡鑛夫の控訴

忠北永同郡[illegible]の上去る四月十七日夜元同山事務所なりし空家に至り點火したる新聞紙[illegible]覆審法院に控訴申立てたり

村長の判を僞造

[illegible]印を僞造し之を證明書に押捺せんとしたること發覺し去る九日釜山地方法院に於て死刑の宣告を受けたるを不服とし直ちに控訴の手續を爲したりと（釜山）

[illegible]方に立歸り居れる內緣家の韓興洙（四三）といふ實父と同年輩なるものと[illegible]し何れも檢擧され此程慶[illegible]韓興洙の兩名は懲役四箇月[illegible]金姓女は三箇月（二年猶豫）の處分となれり

內藤千代子著　縮刷合本　生ひ立ちの記　情春譜　全部總六號活字本部七百餘頁　價金一圓十錢　送料金十二錢
生立の記は豊艶の文を以て鳴れる女流文學家の明星たる著者が其の幼時代より成人に至る半生の追懷●情春譜は甘き戀の時代の露はさる告白兩々相俟て初て茲に双璧と成る處女の血管を廻る美的詩趣の發露や如何に
發兌　東京日本橋　如山堂　明文館　京城　大阪屋號

國民性涵養の絕好著▲敢て一讀を勸告す
陸軍教育總監大將　一戶兵衛閣下題字
陸軍少將　伊豆凡夫閣下序文
鐵腦鐵脚をペンに替へたる古江淵堂氏が好修養書!!
乃木ペンだより　乃木式鼓吹を呼號せる
價一圓　郵送料拾錢　內容六百頁餘　金言五條なり
大阪東區　梅田町　精華社

各國時計　自轉車　蓄音器　直輸入卸商　喜多金光堂
京城黃金町二丁目（電話一〇一五番）　振替口座七八三番

日韓書房　新版報告
海軍中佐　若林欽著　海の趣味
教育學術　臨時增刊　支那研究
同　獨逸研究
長田幹彥著　舞扇
那山經堂譯　歐洲政界奇談
京城本町二丁目

今が勸業債券月賦御申込の絕好機
一新六十四回債券の好きは發行忽にして品切を告げし爲め折角の御希望に御滿足を與へ難きは甚だ遺憾の至りに存じ候依て今回內地各方面と連絡を執り幸に各位の御希望に應ずる事と相成候間何卒御用命の程願上候尙其他吾十圓、五十圓組實、百圓組實等各種類に分ち最も趣味を附し懇切に取扱ひ居り候間御希望の際は御一報次第社員を伺はさせ可申候地方の御方には營業案內無料進呈致候
京城太平通り二丁目（電話二八三一番振替五〇〇番）
株式會社商業銀行朝鮮債券部
木浦府榮町一丁目三番地
商業銀行朝鮮債券部木浦支部

支部設置
▲木浦支部に屬する事務員及び外交員至急募集

製造元とのやくそくで割の安い品そろい
砂糖、麥粉、寶、金巾、燐寸、石油、洋鰯、鑵詰、紙類、乾物、鑵詰、ビール、サイダー、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其他の日鮮人向雜貨食料品
大おしろ店　仁川本町　河野本店　電話二八一番

資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百參拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取　男爵　澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

池田季雄
イゲダ小兒病內科醫院
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院）一二三四　（自宅）八八〇

其方に身を寄せ居たるが間も無く赤痢病に罹り數箇月の間快癒せざるより大に困窮し本月六日夜濱芹洞原田

大城面上浦　安正鈞外一人は去月卅日同地後方山中にて草刈り中子尉一頭を發見して生擒し同地警察署に届

鑛業所の鑛夫として從業中偶同金山にては經營難の爲め坑夫賃支拂不能となりたるを憤り兩名共謀

れる第二種を烏有に歸せしめたる爲め公州地方法院に於て何れも懲役五年の處分となりたるを不服とし京城

雇員を志願せしも鄕里の杜長の證明書なき爲め去る七日草梁の鮮人印…同村長松村儀一の公

莊農園經營坂井喜三郎を慘殺したる同農園小作木吉人又平及び同人妻りゆの兩名は去る八日午前九時釜山地

（二二）は大正二年中嫁したるも不和を生じ翌年七月頃實父たる同里居洞…し薬物を服藥し大正四年舊三月二十七日胎兒を死產せしめたること發覺

…旅で嫁十一日午後五時より毎週の如く日曜學校を午後八時より普通說敎會を開く由

おとこびしちからのあせをこながれにあらへばかをるはつなつのかせ（楚）

◎瑞西へ

交戰諸國に取圍れた世界中類の無い小國

媾和談判で厄介なのは

――新任瑞西公使　三浦彌五郎氏談――

幸にして媾和が開始されたにしても厄介な問題が一つある大抵の事はいい加減に仕末がつくだらうけれど肝腎な事になれば聯合國側で巧く纏りがつくか怎か由來媾和會議に於て聯盟國側の意見統一と云ふ事は今迄の經驗に據つても隨分苦い目に會つてる今度にしても佛蘭西がアルサスロレーンを取戾さうと言ふのに他の關係から英國が

まあ其れは獨逸

のものにして置いてやれと云ふ意見が出たとして其れが巧く纏るかどうか日本などにしても青島は返へすと云ふ宣言をしてるか南洋諸島などは問題になりはすまいか今迄日本は戰爭毎に勝利を得てる隨つて何か角か占領する處があつてる今度にしても立派に勝つてるんだ其を媾和會議の席上英國が南洋諸島を總て自分のものにするとでも言ふ樣な事になれば

氣の早い日本人

は怒り出すに違ひない其樣な處は餘り大した問題では無いにしても厄介なのは巴爾幹の仕末だ露西亞は是非地中海に出たいのだし英國は出られると迷惑なのだし能く其纏がつくか怎か露西亞は海に出る爲めにダーダネルスの鍵が貰ひ度いのだし黑海の南沿岸は自國の兵が敵を掃蕩したのだから其邊一帶を自分のものにしたがるだらうし其れは軈て波斯の北部に於ける

露國の勢力擁護

にも爲るのだ。處が英國にとつては露西亞の此希望、此要求が總て自國從來の勢力圈――例へば埃及、波斯、印度等――の利害問題となつて來るし更に今度の戰爭に據つて新に植付けたメソポタミヤあたりの勢力は決して其儘抛棄したくはないに違ひ無い、茲に英露間に厄介な問題が湧出す樣な事は無いか怎か。媾和談判での厄介なのは昔から其分前に就ての意見の衝突だ直ぐに其れが原因と爲り

干戈を交ふる

樣な事にはならないにしても心持のよくない感情を持つたまゝでの媾和成立は後に何か鳥渡した事があつても直に面倒な問題を惹起する種となり度がるもの、だ萬一巴爾幹の問題で英露兩國間に面白からぬ事でも起るとすれば獨墺あたりは直に乘じて其一方に加擔する樣な結果と爲つて來ないものとも言へない今度の戰爭の媾和會議で一番注目されるのはどうしても巴爾幹の問題だ、戰後の現象として古來最も著しい事實は人間の戰爭に對する嫌厭である

流血には飽き

果てゝゐる恐怖し切つてゐる其れが戰爭が大きければ大きい程其度も強く濃厚になつて來る今度の樣な大戰爭の後暫くは干戈も動かないであらう其れから戰後には人間の氣が荒ツぽくなる相だ非常な殘虐、慘忍に慣れ切つてるので少々の事には一向感じがない隨つて鳥渡した事にでも直ぐに切つたり撲つたりする騷ぎをやり出すと云ふ事だ我躍など大に警戒して置うと思ふ哩々。其れから莫大な

壯丁が戰死した

後なのだから女の方が多くなる是れも當然だが茲に興味のある事は戰爭毎に人種の混淆する事だプルータークの英雄傳などでは歷山大王が波斯から印度にかけて遠征した時婦人を犯さなかつた事を以て誇とした樣に書いてあるが大將一人はさうでも多數の兵士總てがさうだとは言へない是れは古來殆んど總ての戰爭にあり得べき事である奈翁一世が全歐洲を席捲した時の如き奈翁自身が大いにやつてる

獨逸に侵入した

時內親王を犯したので今のカイゼルは其孫に當るなどと說く史家さへもある其事實は兎も角として人種の混淆は認めない譯には行かない今度だつて大に双方からやり合つてる殊に白耳義婦人が最も被害が多いが北佛方面に於ても佛婦人が獨兵の爲めに犯された事實は大にあり又一時東普魯西亞に侵入してゐた

露軍に犯された

獨逸婦人も鮮からぬものだと云ふ。恁くて戰爭毎に世界の人類は混淆されて幾分か宛各自其特色を失つて普汎的になつて行く。其れに較べると日本など古來外患はあつても戰敗の苦い經驗は無し右の如き侮辱も受けなかつたので比較的純な人種的系統を保つ事が出來た譯である（みはり）

□倫敦此頃

劍橋大學＝沿岸を脅かす潛航艇＝サフラジェット＝獨探の密告か＝交戰國の首都＝ツェッペリンの警戒＝夜の倫敦

男爵　島津忠彥氏談

▽**英**國劍橋大學に遊ぶ事二箇年、林駐伊大使歸國の途倫敦を通過せると同伴して九日夜大使と同行入京した島津忠彥男は清洒とした灰白色ホームスパンの脊廣麥輕やかにレーニングコートを羽織り劍橋の校章だと云ふ黑赤の縞リボンで捲いた麥藁帽を被つてもう間もなく南大門に著くと云ふ用意を濟ましてゐる

▽**小**型のスートケースを片寄せて鮮滿急行の寢臺で快く記者を迎へ無髯無髭の口邊に愛嬌のある微笑を湛へ乍ら快く語る――劍橋には總て二千人餘りの學生がゐるんですけれど戰爭の爲めにだん〳〵減つて行つて私の歸へる間際には、さうですね到底も半分もゐやしませんでしたらう私のゐたカレッヂは平時は六百人許りでした

▽**最**後には五十八位になつてしまひまして其れも殆んど大部分は外國人なんです。其れでも無論レクチュアーは普通の通りにありますプロフェッサーには僧侶が澤山ゐましてね其れ等が矢張り戰場に出掛けます經濟學者になりますと參謀本部あたりに傭はれて其な其道の仕事をやつてる模樣でした

▽**有**名な例のオックスフォードとのボートレースも無論戰爭の爲めに中止してしまつてます。遣りやいゝのに、遣つてくれゝば一つ大に腕を見せてやらうと思つて竊に腕を撫してゐましたが私のゐる間到頭一度もやりませんでした。いくら青年が戰場に送られたと云つても

▽**倫**敦では未だ仲々若い者が澤山ゐますよ私の友人で募兵に應じた者がありましたが戰線には出ないで英國內で萬一に備へる爲めに軍務に服してゐました何しろチョイ〳〵潛航艇が沿岸を脅かしたりしますからね。其れに戰線に出てる兵が交替しちや順繰りに歸つて來ますから倫敦の市中には兵士の姿は澤山見られます。

▽**ツ**ェッペリンも最初の時は可成り倫敦を騷がせました私も最初のやつを見ましたが鳥渡驚かされましたね、けども二回三回と爲り五回八回と爲りますと一向珍らしくもありませぬからね、ア、又やつて來たか、一つ寫眞でも撮つてやらうかなと云つた調子で隨分呑氣になつてしまひましたね私も寫眞をとつてやらうと思つて氣をつけてゐましたが到頭駄目でした。

▽**例**のサフラジェット（婦人參政權運動者）も戰爭が開かれると同時に流石に窓硝子を割つたりする樣な事もなくなり無論全然主義を捨てたと云ふ譯ではないでせうが餘り樣子が聞こゑなくなりましたね

▽**キ**ッチナー元帥の坐乘艦が沈沒したと云ふのは無論私共の乘つた船が通つた後ですが私共の通つた時は北海は別に何の事もありませんでしたがねえ。怎も獨逸の潛航艇あたりがやつた事ではありませんかね、一體德國人の行動は倫敦あたりでも豫め分る樣な事はありませぬ、此前佛蘭西や伊太利方面にキッチナー元帥の行つた時だつて行つてしまつてから樣子が分る位のものですからね矢ツ張り獨探でも入つて秘密に報告したと云ふんでせうね

▽**倫**敦とペトログラードでは兩方共同じ位の交戰國の首都らしい氣分が漂つてます倫敦はツェッペリンを警戒する爲めに夜間灯を消しますがペトログラードではそんな事はありませぬ尤もペトログラードは白夜で十二時頃迄は明るい譯ですから灯を消しても消さなくつても同じ事ですけど、其れに流石のツェッペリンも此處迄は遣つて來得ませぬよハ、ハ、ハ、

◎飛機墜落

即死二名を出す

宮崎來電に據れば長澤中尉は十日朝同地都城にて飛行中二百米突の高空より墜落飛行機は粉碎し氏は下腿骨を打ち五萬の觀衆中即死二名氣絕者一名重傷者三名を出せり（大阪特電）

◎吳市の大火

市長數視負傷す

吳來電に據れば十日同市神明町荒谷鶴松方より出火し大正座外七戶全燒一戶半燒損害一萬餘圓に上りたるが吳市長及び川崎警視等四名の負傷者を出したり（大阪特電）

◎鹿島丸無事神戶入港

擊沈されし噂ありたる鹿島丸は十日朝無事神戶に入港せり（大阪特電）

◎不正漁船拿捕

去月二十五日慶北盈德警察署にては同地長沙沖合に於てダイナマイトを使用し漁業をなしゐたる不正漁業船四隻を發見し二隻まで檢擧したるも他の二隻は遂に逃し爾來沿岸各地官憲に手配し搜查中去る四日江口港に入りそれより九龍浦に回航したる事を盈德署にて探知し直ちに檢擧に取りかゝりし處果して同日午後四時頃件の不正漁船二隻は九龍浦に入港したるより中一隻を取押へたるも他の一隻は何れにか逃走したり檢擧したる一隻の漁船には廣島縣安藝郡生れの新谷常吉外三名乘込み居り目下嚴重取調中なりと

◎子を殺して埋む

咸北慶源郡安濃面舍洞韓於仁（二四）は本夫が支那に出稼ぎ中久しく送金せず生計に窮したる爲め同洞李文國と姦通し昨年一月男兒を分娩せしが之れを世に耻ぢ直ちに壓殺したる上十日程我が家に隱匿し其後密かに持出し自宅を距る十五丁位の谷間に埋めたるを其筋の知る所となり取調べの結果遂に檢事局に送られ去る一日起訴せられたりと

▼御大典活動寫眞▲

□元山壽席にて（十一、十二、十三日）

京城日報、每日申報の現勝讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

□番外――寫眞物――滑稽物――西洋奇術等

主催　京城日報元山支局　每日申報元山支局

◎質屋荒しの曲者

福岡縣鞍手郡木屋瀨町生れ力丸種吉（三九）こと前科二犯の男は長崎縣壹岐郡箱崎村生れ後藤いと（三六）と云ふ前科四犯の女と何時しか情を通じ夫婦氣取り京城に來り黃金町四丁目島田某方一室を借り受けて同棲し殆ど賭博を常業の如くなし居れる間共謀して本年三月以降十數回に涉り京城市中の各古物屋を漁り廻り目星しき衣類を格安に買ひ取り之れを僞名して入質し或は質札を他人に賣却し古物屋より衣類を詐取する等十數箇所の質屋を荒し廻りゐたる所を本町署の刑事が探知して兩名共檢擧したり

◎僧侶強盜を働く

京畿道金浦郡々內面悲壘里鄭求道（三一）開城郡進鳳面岩洞里李文讃（三〇）の兩名は僧侶なるが大正四年四月九日金浦郡黔丹面不老里の尹延榮及び同里の尹理榮の兩名が賊金或は牛の賣却代金等を所持し居るを探知し同夜共謀の上前記兩名方に侵入し荒繩を以て縛り上げ所持金三圓九十錢乃至四圓十錢を强奪したる事發覺し京城地方法院にて此程各懲役十年の處分となれり

◎大相撲乘込期

京城興行は七月上旬

東京大相撲西の海、大錦の鮮滿巡業團は愈々來る十四日東京發十六日釜山乘込み十七日を初日として三日間鎭海一日、大邱二日間迄は決定し先乘りとして中西協會理事、年寄後香山は大邱に又追手風は釜山にありて諸般の準備中なるが大田、群山、木浦は未定にして京城興行は多分本月末か七月上旬なるべし

◎黃金館開館式

來賓千餘名來會

新築落成の活動寫眞常設館黃金館にては既報の如く十日午後一時半より京龍官民の主なるもの及びその家族を招待して盛大なる開館式を擧げたり來會者一千餘名頭同館經營者早川增太郎氏の開館の挨拶あり續いて來賓を代表せる大垣京城通信社長の祝辭に亟ぎ拍手喝采の裡に餘興に入りヴァイオリン三味線合奏の三番叟活動寫眞、筑前琵琶長唄鶴龜、滑稽輕口、三味線ピアノ合奏の秋の七草等あり四時半過ぎ無事閉會したるが來賓一同には土產として記念品繪葉書等を贈呈したり

◎三券番懇親會

京券、新券、中券の三券番は十日正午より大正館に於いて懇親會を催ふしたるが當日は三券藝妓は一名も殘らず參會し大正館より寄贈にかゝる辨當記念品を受け頗る盛會なりき

◎見嶽博應師の說敎

京城長沙洞妙心寺別院に留錫中なる臨濟宗本山見嶽博應師は十一日は午後八時より、十二日より十五日迄は午後二時及び午後八時より連日說敎を爲す筈なるが同禪師は西國三十三箇所靈場の土砂を携帶し來り一般信者に御砂踏を爲さしむる由

◎南山本願寺の說敎　南山本願寺にては十一日午後八時半より說敎ある由

運動欄

▲本町署道場開き　本町警察署にて道場開きを十日に開始の筈なりしが都合に據り十三日と變更されたるが會員としての申込者には府廳、鮮銀、朝郵等其他の申込みあり頗る好成績の由なりと

投書欄

先日の京龍府球對抗戰は近來に無く愉快な合戰であつたが野球の力も此位に充實した試合を見せて貰ひ度いものだ（一番枏生）▲京城には漢江と云ふ立派な川があるのに何故短艇が浮ばないのだらう（河童の虫子）▲鮮銀と滿鐵との對抗試合が早くあると云ふ事ですが其は眞實ですか（期待者）▲此秋に滿鐵から出掛けて來るさうです（小倫）――投書歡迎――

讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

△物は付『朝鮮で見たいもの』

◎移民村の盆踊り（一等）　京城永樂町二丁目七八石川內　中村紫光

○梅林　龍山　荒木若鬼

○內地に殘した親の顔　龍山　京新

○京城に離宮　龍岩浦　大石劍牛

○天下旗　龍山　山家呑公

○大朝山王　余泉　朝浴

○內地同様の施設　余城　佐藤呆人

○噴火山　木浦　鄧六

○スミスの飛行と開成商店　淸州　古谷眠兒

次回物は付『目障りなものは』締切十五日發表十八日

京日案內

普通（一回金三十錢　一匿名一回每に金五錢增）　番外（一匿名一回每に金五錢增）

▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

一講店　營業豆腐店部合に依り道具一式揃至急讓渡したし御希望の方左記へ　龍山鐵道官舍九〇號前　▲大坂屋　386

◎各宗教經本類　▲全部取揃へ有之候　▲振替京城武參　京城本町二電二五二　ウツボヤ書店　350

配達人至急募集希望者は本人來談あれ但し市中に確實なる保證人を要す　明治町二丁目　町田新聞部　380

貸家　初音町一二七番地　官吏向　賃格安　◎電車至便　所有者　◎光熙町一丁目　鈴木　379

病院並地方患家の付添及看護婦派遣に應す　京城櫻井町二ノ一　朝鮮看護婦會　電話一九一二五三三番　311

店員入用　十五歲以上二十歲迄　龍山鐵道構內電車終點　龜屋雜貨店　電話五〇二番　372

篤士雇たし但し年長者にて隱居仕事に給料を取らんとする者家族及履歷書送れ　給料照會の上　姓名在社　374

新築貸家官吏向　家賃十二圓以上十六圓まで數戶　初音町一二〇〇番地　電話一八〇六番　野中　383

南大門通一丁目　京城春川間行自動車賃金片道四圓　京城發午前八時◎春川發午前八時　廣橋自動車　電話二一九番　主務金正淵　322

京城春川間自動車　乘合賃金片道四圓　京城發午前八時◎春川發午前九時　京城水標橋通り　京春自動車商會　電話貳壹參八番　支配人松田壽男　50

分拆　鑛物各種　坂元分拆所　京城太平通二ノ一二五　358

恩給年金立替　月利壹步武厘五毛　短期無保險迅速融通　京城武橋町二三番地　電話二三八三番　京城日報社北方一丁　國江商會　336

恩給年金低利　秘密確守　一時賜金公債通帳高價買受　其他日獨　數年分御立替　京城永樂町一丁目　商品陳列館表門前　江州屋本店　314

桑　苗荷著　子種　高知本場發桑名古屋產共　京城　勸農園　電話七〇四　振替京城五六　363

▼鑛物買入所開設　京城太平通二丁目五十八番地　電話架設中　鑛物賣買商行　370

外交員募集　但し市內に相當の知己あり外交に經驗あるもの　京城本町二丁目　町田新聞部　373

見習看護婦募集　年齡十八歲以下身元引受人を要す　本町二丁目浦尾旅館向　京城醫院　376

お徳用支那鞄製造販賣大勉強　京城本町一丁目　高木旅行用具店　382

ゴム諸風船ゴムホーツキ子宮サック外サック其他各種ゴム製品製造卸　電話二〇六　振替三九二　太陽ゴム商會　京城太平通大漢門前　385

破產宣告公告　右ノ者ニ對シ破產ヲ宣告シタリ詳細ハ本年六月九日朝刊ノ京城日報ニアリ　本田滿壽男　京城地方法院

給費傳習生募集　卒業後電信技術ニ從事スベキ通信乙種傳習生約三十五名募集ス養成期間約七ケ月內地人ニ日額三十錢朝鮮人ニ二十五錢ノ手當ヲ給ス卒業後日給內地人五十錢朝鮮人三十五錢以上ニ採用ス人員成績優秀ノ者ハ相當增給ス詳細ハ六月十日ノ朝鮮官報又ハ最寄郵便所ニ就テ知ルベシ　大正五年六月　朝鮮總督府遞信局

山崎勝一　右者今般解雇致候に就ては當方と何等の關係無之候也　大正五年六月八日　京城永樂町二丁目　山崎むら

繪畫　肉筆通信教授　今すぐ申込へ見本進呈　特典數種　入會金全免◎短期卒業　東京下谷西町三　繪畫會

佛具調進所　京城本町二丁目花月前　電話一五七一　小倉佛具店

尺八音譜　東京尺八講習會發行　澤山著荷　詳細目錄は電話及葉書にて御申越次第御報知可申上候　地方よりの御注文は特に送料は貳冊以上の節は弊店にて負擔可致候　京城本町二丁目　巖松堂書店　電話一六六番

山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　京城太平通　京城日報代理部　振替三〇〇番

新刊書御案內

書名　著者　定價

◎兒童の精神生活と教育　一、五〇
◎國史問題正面觀側面觀　八〇
◎新譯二千六百年史　特二、五〇
◎爪哇とセレベス　一、二五
◎世界寶庫南洋の富源　七〇
◎趣味の日本史上　二、八〇
◎基礎健康法　五五
◎抵抗養生論　八五
◎日用食物撰擇法　一、二五
◎互先定石虎の卷　一、五〇
◎新式園藝寶典　一、六〇
◎總督府巡查受驗提要　特四五
◎小學讀本自習書
◎四季の田園　一、三〇
◎花鳥風月　一、九五
◎生きて物云ふ文章の作り方　三五
◎國定讀本文章教授の新研究　一、二五
◎海の趣味　一、二〇
◎碧巖錄講解百則百話　一、八〇
◎俳諧學句樂　一、四五

大阪屋號書店　京城本町電話二〇八六

圖書雜誌　文房具　理化學機械　博物標本　和洋紙　和洋帳簿　教育用品一式　體育運動器具　測量製圖用品　朝鮮土產品類

朝鮮平壤府南門町　勝坂文鮮堂　電話二四番

女鳩

渡邊默禪

『二』山のローマンス

天狗太郎坊樣が出發しなければ都合が惡い！、この一語はそこに居る凡ての人を啞然たらしめた。源作は極めて嚴粛に、引緊つた顔色をして、そして幾分の恐怖をおのゝく聲に加味しつゝ語つた。天狗の太郎坊樣はどんなお方であるかなどゝ穿鑿立をして話すのは、餘りに恐れ多いとである。只何でも日本國中の高い嶺から峰と自由自在に翔んで歩かつしやる鼻高樣と想へばよい。朝日嶽には春の躑躅のさく頃一度、夏の土用中に一回、それから秋はお休みで、冬の吹雪に千仭の谷も埋る頃は、師走二十日といふ日に絶頂にお降りになつて、谷陰の杉の梢にお泊り、朝夕梵字の瀧で寒垢離をなされ、正月元旦寅の一天に羽ばたきして昇天なさる。この十日間をお籠りの時と唱へて、山稼等の者は獵師でも杣でも御酒をそなへ、毎日山に向つて祈念をすると眈とその年の福を與へて下さる。萬一うつかりして山へ分入り、枯木一朶、小禽一羽たりとも取らうものなら、直と山が荒れて谷底へ吹き飛され、その儘永の屍となつて了う。恐れても恐るべき活神はこの太郎坊樣である、と想うだつた。

みんなは笑を忍んで聽いてゐた。取分けお伽噺の好きな鳩子は、さながら希臘神話の中に有りさうなローマンチックの傳説が、それによく釣合つた田舎の宿で、しかも吹雪の夜此の老獵夫を語手として、目の前に見るが如く活きて來るのが、何ともいへぬほど面白かつたので、膝をきちんと合せながら前に摺寄るやうにして、源作の黒い唇を見詰めつゝ聞惚れてゐた。『お父さま、面白うござんすわね。だから私、田舎の旅行は好なんですのさういつたやうな珍らしい話つたお話を聞かれるんですものね。』『私手帳につけとくわ忘れないうちに』急いでバッグから手帳を出してに

肌に輕く着心地よき夏物の めいせん おち婦や 京城本町二 電話八九〇番

こく〳〵と鉛筆を走らせ始めた。『アハ、、、つまらんとを氣にして來るぢやないか。迷信も此處まで來たら最う行止りだ。ば、莫迦なッ、天狗が何だい、アハ、、、水戸黄門の諺で最う店仕舞になつたと思つたらまだ那麼物がゐるのか、おい。居たら飛行機が長距離の飛行をする世の中だ、いゝ加減にして早く隠居をしろと言へ、アツハツハ』大分酔つてゐた生駒は、揶りかねて傍から一口に消なしつけた。大野はいつか同樣の話を源作から聞かされてゐたので、何とも言はずに苦笑をするだけだつた。『ぢやあ、その天狗が怖いので、正月までは山に足踏が出來んといふのぢやな。いや、それは……』子爵は鳩子ほどに暢氣には聞いて居られなかつた。翌にも朝日嶽に上らうと豫期してゐた計畫が、そんなくだらぬ理由の下に挫折したならば實に少からぬ憾である、と心を焦つたもの、今天狗を罵倒した生駒の言に憮然となつた源作の顔を見ては愍じ機嫌を損じるやうなとも言出されぬので、さも當惑らしく大野に目配せした。『ほたなとを言うとお前さま、罰が中んべゐぞ。太郎坊さまばかりはハア觀面だからなア』源作は不興らしく云つた。と、大野はひよいと思ひついたやうに『爺、お前、夕飯は濟んだか』『いんや、まだ』『ぢやあ一杯上げやうか』低く言つて子爵に目ませをした。『あゝ、遣れ〳〵、酒が好きぢやさうな、十分に遣れ』子爵はその意を悟つたらしかつた。て大野の氣轉で源作の前に馳走がはこばれた。彼はそれを見ると急に顔が頽れた。勧められるまゝに大きな茶碗になみ〳〵とつけて、舌打しながら呷つた。『時に爺、困つたなア、何とか工夫がつかないもんだらうか』機を窺つて大野が巧みに切出した

釣道具新荷著 釣道具 投網 其他漁具一式 京城永樂町二丁目 製造卸小賣 吉備商會 監獄署製品販賣所

新刊紹介

△新輸入 グリム御伽噺（芳賀博士序）中島孤島譯 冨山房が新に計畫せる輸入家庭文庫の第二編さきに吾人が紹介推讃に努めたる菊譯アラビヤンナイトの姉妹編也原書は有名なる獨逸の國民的童話集近世御伽噺の最大寶典として普く世界に傳唱せらるゝもの『狼と七匹の小山羊』の話以下五十篇譯例に依つて美しき色刷の挿畫を加へ平易流暢なる口語文を以て譯出せるもの家庭及び學校の文庫に必ず一冊缺くべからざる好書といふべし裝釘、極めて燦ばかり見返しの意匠として愛すべき凡ての點に申分なき美本也（新四六判五百十頁挿畫三色版十二面定價二圓二十錢東京冨山房發兌）

△最新詳解 現代農家行事 益に實年評論家より發行せる青年農家年中行事を改題せるものにして總說と各說とに分ち總說に於ては本邦の農業上より區分して氣候と作物との關係作物栽培施肥等の要旨年中行事の決定及び播種本手數雜節副業等を說き各說に入りて一年十二箇月各月に於ける行事を細説せり内容豊富叙述簡新家庭に於ける一般的顧問として恥ずべき亦乏しからず（一圓三十錢東京市京橋區南傳馬町有隣堂書店）

△義勇青年（六月號）戰時の獨逸青年團は如何なることをなして居るか田中中將獨帝は斯く日本を罵倒せり小島法學士由乗飛行は如何して發達したか仲木貞一潜航艇の總監蒲井白雲等（十五錢東京市牛込區南榎町七四大日本靑年社）

▲廣告▼

愛らしき處女の囁き（ニキビが取て急に美人となる）

オヤ〳〵驚きましたネ、アナタは私と同樣ニキビでお困りでしたが今は瘢跡もなくキレイに取れて色が大層白くホントに美人にお成ですとネ一體ドウしたのですか『ハイ實は藥學得業士金澤巖氏のラスターと云ふ内服藥が大層良いと聞き早速用ひましたらコンナニ成りました元來顔面にニキビ吹出物オデキを生じ其他ドス黒く穢き斑點のある等は体内胃腸の變化より生ずる一種のトキシンに原因するものなれば内服藥にて治療するを正則とすラスターは此等の皮膚病に良効ある内服藥にして同時に胃腸を整へ身體を健全とす注文は三錢郵券十枚封入して東京下谷區上根岸町百十一番地金澤藥局へ申込む時は直に送藥すべし

一千反限り 新柄奇抜 縞セル 無代女帯地進呈

過去五年間吳服類の斷然安賣にて評判を取つた東京日本橋區本石町壹丁目吳服問屋關谷商店にて今回地質の丈夫にて柄合の新しき奇拔なる一見絹織も勿體なき品にも負けぬ東京流行の縞セル一千反限りの投賣を始めたが特別上製一反タツタ二圓五十錢と法外な丸で只の樣な馬鹿値に投出し且賣出し記念として優美高尚なる西京西陣製の新博多女帶地をセル一反の注文毎に一筋宛の無代進呈を爲す珠算捨た大見切は流石に用途の廣きセル地の事とて日々大賣行を見る所以也因に地方は男女別年齡を記しハカキにて申込は柄合親切に選び代金引替送料も實費で送る由

ルーデサック 穗形特製一個參拾錢女用一個七拾錢 月經帶一個八拾錢壹圓各種（要送料） 男用一打四拾錢上製六拾錢 △花柳病自宅療法（申込次第進呈） 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會滿鮮本部

わきが 治癒 良劑
■わきがは良緣出世交際を妨げ人に不快を感ぜしむ即刻治療されよ
■清腋散は幾多經驗の良劑なり わきがも治癒せしむ藥效確實なく重症の人直ぐ試み給へ慢性困難症用一圓輕症用八十錢 送料各四錢郵券不苦着金直送 本家…名古屋廣小路通…小林盛大堂

梅雨の下痢病は黴菌性の者多し故に止瀉藥は醫學上殺菌力を有する藥劑ならざる可す……柏村博士のヘルプは此點を考慮し調劑せし者にて從來の賣藥になき消化殺菌、防腐の作用を完備す故に

腹具合の悪い時には先づ柏村博士創製の「ヘルプ」を試みよ

下痢、腹痛は直ぐ治り、腸胃は健全に復す！

下痢と腹痛にはヘルプが一番よい

△ヘルプ主効▽ △痢病△腸カタル△胃カタル△腹痛△食傷△吐瀉△時候あたり△水あたり△腹下り△腹瓦斯△滋腹其他一切腹具合の悪き時に用ひて妙 定價十錢・三十錢・五十錢・一圓 東京日本橋區本町 津村敬天堂

日鮮人向 陶磁器
㋡ 仁川新町 津田兄弟屋
仁川宮町 津田兄弟屋支店 電話七六二番振替京城一二八九番

營業科目
罐詰類 乾物類 茶類 昆布 雜穀類 海産物類
漆器類 家具類 金物類 荒物類 文具類 履物類
乳母車 花莚 陶器 スダレ 朝鮮飴 東京澤車
鰹節 綿炭 石油 木炭 石炭粉
農具 シヨベル

初夏の衛生、盛夏よりも却つて飲食物に尤も嚴密に御注意を遊ばさねばなりません今此時、此の事實の御記憶を更に御願申上ます
澤の鶴!!には微細の混加物もありません最品質醇美で最衛生に適合致しましたる酒と云へば先づ第一に帝國醫科大學模範藥局御用酒※澤の鶴に指を折らねばなりません

澤之鶴 日光 壽 米壽 特約店
京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番

流經新藥 レスノリン 月經閉止經過四五ヶ月以内ニ應用ノ目的ヲ達ス 流經 其作用ノ確實ナル… 一瓶一圓… 發行所 常盤藥院 大阪北區

花柳病專門 外科
◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病◎翠丸病◎肛門病◎皮膚病◎婦人病◎神經衰弱◎六〇六注射包皮其他手術每日
◎診察無料◎入院隨時
京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四一番
内科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り 無料施療す
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

金泉醴泉間自動車發著時間
上り 一番 二番 金泉發 前八、三〇 … 下り 一番 二番 …
金泉職居自動車支部 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 七月五日 正午出帆
高砂丸 六月十二日 正午出帆
三河丸 六月廿四日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 電話十一番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 六月廿七日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 六月十五日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 六月二十日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 六月廿九日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三平丸 六月三十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三平丸 六月十九日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天眞丸 毎月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山海岸通立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令航路 第十一共同丸 六月十四日入港 六月十六日前九時出帆
朝鮮總督府命令航路 大連にては南滿鐵道株式會社の汽船連絡取扱有之
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸（元山出帆） 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目（電話一〇八番） 山下回漕部
仁川代理店 杵日町（電話二四七番） 田口回漕部
元山代理店 南大門（電話二六八・二〇七） 河村運送店
京城取次店

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大正丸 六月十四日後四時出帆
大行丸 六月十九日後四時出帆
神代丸 六月廿八日後四時出帆
秀吉丸 月 日後四時出帆
仁川海岸通 電話五十九番 杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 天智丸 六月十二日 後五時出
×天東丸 六月廿五日
×安東丸 六月十八日
×木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 大智丸 六月 日
×濟州丸 六月十六日 後二時出
○信濃川丸 六月 日 後二時出
○鎭南浦、大連直行 潮州丸 六月十七日 正午出帆
福州丸 六月十一日
○群山、釜山、横濱行 六月十四日 後二時出
○南浦、木浦、神戸、大阪行 大智丸 六月廿一日 後二時出
○群山、神戸、大阪行 宮島丸 六月二十日 後五時出
○清津、浦潮行（元山出帆） 六月廿八日 寄港浦潮不寄港
○安平丸 六月十四日 後二時出
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 城津丸 六月十七日 六月廿八日 後四時出
御注意 京城切符發賣所

朝鮮郵船出帆
全羅丸 京畿丸 黄海丸 咸鏡丸 六月十一日 六月廿一日 六月十五日 六月廿五日 釜山發
穩城丸 昌平丸 鏡城丸 六月十二日 六月十六日 元山發
忠清丸 平壤丸 六月十九日 六月十二日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
盈德丸 六月十三日 釜山發
江陵丸 毎日 釜山 浦項發
三浦丸 六月十一日 釜山發
海州丸 統營丸 巨濟丸 慶尚丸 毎日 釜山發
順天丸 三日目毎に 木浦發
公州丸 六月十日 木浦發
公州丸 六月十五日 木浦發
慶興丸 六月十四日 木浦發
宗信丸 六月十日 仁川發
江原丸 六月十六日 仁川發
麗水丸 濟州丸 六月十日 六月十五日 仁川發
錦江丸 毎日午前 仁川發
南陽丸 六月十九日 六月十二日 群山發 若松發
平安丸
京城南大門 朝鮮郵船代理店 松原運送店

商況
下關期米特電
休日明け如何
現物界
暴風警報